

い		得	言	知	と	な	き	に		を	け	い	実	の	尾	注			
分	設	す	が	識	が	い	な	辿	長	称	て	る	な	一	勝	ぎ	2	□	C
野	備	る	受	は	、	。謙	い	り	年	し	き	。そ	仕	日	、	、	0	プ	O
で	は	知	諾	乏	難	虚	。数	着	の	、	た	れ	事	が	6	パ	2	ロ	V
あ	建	識	で	し	題	に	字	い	実	時	。身	でも	。松	始	5	ソ	0	ロ	I
る	築	は	き	い	を	人	に	た	務	代	近	、	尾	ま	歳	コ	年	ー	D
。た	と	強	る	。利	解	の	囚	。技	経	遅	で	、	。座	る	。設	ン	3	グ	
だ	異	固	。そ	他	決	意	わ	術	験	れ	見	約	右	。座	備	画	月		1
、	なり	な	う	の	す	見	れ	（	を	の	詰	四	の	。座	設	面	9		9
人	、	もの	す	心	る	を	と	科	聞	漢	め	十	銘	。座	計	に	日		、
々	一般	にな	れば	を	ヒ	聞き	、	学	き	と	る	年	は	。座	を	微	、		穩
の	に	な	、	持	ン	、	そ	）	、	呼	妻	間	、	。座	生	か	や		か
生	は	つ	必然	て	ト	背	の	で	景	ん	の	、	精	。座	業	な	な		な
活	は	て	的に	ば	に	を	本	全	な	で	美	一	一	。座	と	影	春		春
を	馴	い	に	、	なる	知	質	て	を	い	里	杯	自	。座	す	を	陽		陽
支	染	く	、	多	。一	る	は	は	を	。松	は	抗	覚	。座	と	落	が		が
え	み	。会		くの	人	こ	見	解	知	尾	、	い	し	。座	す	と	降		降
る	の			の助	の		え	決	念		松	続	て	。座	。松				り
重	薄							で			尾			誠	者				

松	見	季	鳥	る	事	と	接	利	貨		用	設	空	間	設		社	く	要
尾	ら	節	の	。	務	が	し	な	店	松	す	備	調	の	備	建	会	、	な
は	れ	が	さ	作	所	で	て	場	や	尾	る	の	は	身	を	基	電	仕	
隣	る	進	え	業	の	き	い	所	官	の	こ	下	呼	体	説	盤	気	事	
家	。	む	ず	に	横	る	る	で	庁	会	と	支	吸	に	明	を	・	だ	
の	薄	と	り	疲	が	。	が	あ	施	社	が	え	器	例	す	支	給	と	
白	紅	、	や	れ	庭	そ	、	る	設	は	で	が	系	え	る	え	排	自	
い	色	花	柔	、	と	れ	業	。	が	市	き	あ	、	る	縁	る	水	負	
色	の	水	ら	暫	云	は	務	中	近	内	。	っ	電	と	の	重	・	し	
が	イ	木	か	し	う	、	の	心	く	中		て	気	、	の	要	空	て	
好	メ	の	な	の	、	東	折	部	に	心		こ	は	給	常	な	調	い	
き	ー	白	陽	手	二	側	々	の	あ	部		そ	脳	排	技	術	・	る	
だ	ジ	い	光	休	つ	の	で	常	り	に		、	神	水	で	災	防	。	
。	が	花	が	め	の	隣	四	で	、	あ		建	経	は	、	と	多	設	
	強	へ	活	を	幸	家	季	、	日	る		物	系	消	と	。	岐	備	
	い	総	力	す	運	が	を	隣	常	。		を	ー	化	あ		に	の	
	花	苞	に	る	の	低	感	地	生	老		上	が	循	。		渡	裾	
	だ	片	な	時	賜	層	じ	と	活	舗		手	あ	環	設		に	野	
	が	〜	る	、	で	で	る	は	に	の		に	る	器	備		渡	は	
	、	が	。	小	あ	、	こ	近	便	百		活	。	系	人		る	広	

「松尾さん、へ悠久の郷～島本さまよりの	つた。新たな人生経験の始まりでもあった。	イルスト、松尾の業務が交差する前触れであ	する電話連絡が入る。それは、新型コロナウイルスウ	器用な指が忙しく動く。突然に、作業を中断	決定である。朝一番からキーボード上を、不	松尾の喫緊な業務は、医療施設の空調方式	するところが重要であった。	多くの人が困窮する。今の業務を淡々と遂行	始めた。建築の仕事が滞れば、裾野が広い分	レワー・ククの検討など、業務全般に支障が生じ	近な脅威になっ。松尾の会社でも、テ	でも3月3日に最初の感染者が発表され、身	のツア―客を乗せたバス運転手だった。大分	国内最初の感染者は1月22日、中国武漢	□2020年3月（コロナ禍の始まり）	た日常の1コマが一服の清涼剤になっ。慣れ	感染が拡大し、不安な日々が続く中、見慣れ	う。新型コロナウイルスウイルス（COVID19）	設計案件を調整するスタッフの声が飛び交
---------------------	----------------------	----------------------	--------------------------	----------------------	----------------------	---------------------	---------------	----------------------	----------------------	------------------------	-------------------	----------------------	----------------------	---------------------	--------------------	----------------------	----------------------	--------------------------	---------------------

与	高	現	齢		ら	本	っ		は	と	ス		感		い	け	愛		電
え	音	場	は	第	の	と	た	島	・	こ	タ	ー	染	ー	に	る	嬌	ス	話
る	な	重	5	一	相	松	。知	本	・	ろ	ッ	、	、	お	な	ク	の	ー	で
、	声	視	0	印	談	尾	人	と	ー	で	フ	急	施	お	る	レ	あ	パ	す
唯	の	で	代	象	は	の	が	は		、	全	な	設	は	。さ	ー	る	ー	。内
一	響	笑	前	で	、	縁	担	昨		急	員	大	は	よ	。さ	ム	声	事	線
無	き	顔	半	島	施	結	当	年		な	、	丈	ご	う	の	で	務	務	線
二	が	の	、	本	設	び	し	の		話	十	夫	ざ	ご	電	電	員	員	2
の	、	似	中	の	の	に	た	秋		で	分	で	い	い	話	話	の	の	番
施	入	合	肉	人	空	な	施	に		申	な	す	ま	回	では	を	愛	に	繋
設	所	う	中	柄	調	っ	設	、		し	感	か	す	は	繋	繫	称	繋	ぎ
長	者	人	背	に	改	た	の	知		訳	染	？	、	？	い	で	を	持	ま
で	に	物	で	信	修	。そ	増	人		ない	対	ー	松		く	れ	つ	つ	す
あ	自	あ	細	頼	で	の	築	を		の	策	尾	で		れる	。時	佐	佐	す
っ	然	っ	面	を	あ	時	設	介		です	を	で	す		る	。時	藤	藤	ー
た	な	た	の	感	っ	の	計	し		が	し	す	。コ		。時	る	真	真	
。	安	。少	顔	じ	た	島	が	て		、	て	す	ロ		さ	に	紀	紀	
	心	し	付	た	。少	本	、	知		、	い	、	で		が	が	が	が	
	感		き	。年		か	島	り		実	ま	。ナ			救	受	、	、	
	を		、					合			す								

か	事	校	は	い	染	に	急		な	過	護	病	理	者	な	の	サ	ホ	
と	の	の	完	で	を	着	を	突	課	し	施	院	念	の	外	地	ー	ー	悠
、	一	休	了	あ	危	手	要	然	題	、	設	・	に	健	域	ビ	ム	久	
不	人	校	し	っ	惧	し	し	の	に	早	に	学	掲	や	と	ス	で	の	
安	か	要	て	た	し	た	て	連	な	急	な	校	げ	か	点	4	あ	郷	
に	ら	請	い	°	、	空	い	絡	っ	な	・	て	て	な	の	0	る	は	
煽	、	〜	た	工	工	調	た	で	て	空	住	い	い	み	一	°	（	社	
ら	こ	が	°	事	事	改	°	あ	い	調	宅	る	°	に	つ	定	福		
れ	の	、	聞	は	延	修	先	る	た	設	団	周	寄	溢	に	員	）	大	
た	時	引	け	進	の	の	月	以	°	備	地	囲	り	れ	な	は	慈		
連	期	き	ば	み	是	件	に	上		の	も	を	添	っ	入	所	会		
絡	の	金	、	、	非	で	入	、		更	近	丘	う	て	者	の	の		
を	工	に	総	既	を	あ	札	今		新	く	陵	こ	い	1	特	特		
島	事	な	理	に	問	っ	が	回		が	、	地	と	る	0	別	養		
本	は	っ	の	、	い	°	完	の		、	施	域	を	°	0	名	護		
は	如	て	唐	機	掛	コ	了	島		設	の	の	、	建	、	、	老		
受	何	い	突	器	け	ロ	し	本		の	抛	囲	施	物	高	介	人		
け	な	た	な	の	る	ナ	、	の		喫	点	ま	設	は	齡	者	、		
て	も	°	へ	発	る	感	工	話		緊	が	れ	の	重	者	デ	老		
い	の	理	学	注	類	感	事	は		緊	経	介	、	所	厚	イ	人		

設 備 技 術 者 を 悩 ま す 永 遠 の 課 題 で あ る 。一 方	先 す る シ ス テ ム と も 云 え る 。こ の 空 調 原 理 は	地 球 温 暖 化 が 叫 ば れ る 現 在 、人 間 の エ ゴ が 優	気 の 熱 を 奪 い 、室 内 の 温 度 上 昇 に 還 元 す る 。	気 に 放 熱 す る 。冬 は そ の 逆 で 、気 温 の 低 い 外	る 。夏 は 室 内 を 冷 却 し た 熱 を 、気 温 の 高 い 外	本 来 、空 調 は 自 然 の 摂 理 に 逆 ら う 現 象 で あ	設 備 屋 の や る 気 ス イ ツ チ を オ ン に し た 。	余 裕 は な い 。島 本 の 強 い 思 い も あ る 。瞬 時 に	筈 だ 。中 断 期 間 は 短 い 方 が 良 く 、資 料 作 成 に	修 は 必 須 で あ る 。工 夫 次 第 で 、工 事 は 可 能 な	で あ っ た 。高 齢 者 の 健 康 を 考 え れ ば 、空 調 改	の 資 料 作 成 は 松 尾 し か い な い 。と の 難 題 依 頼	工 事 継 続 が 両 立 す る こ と の 説 明 。そ し て 、そ	島 本 の 話 を 要 約 す る と 、コ ロ ナ 感 染 防 止 と	少 の 付 度 は 必 要 な 気 遣 い で あ っ た 。	の 意 見 は 重 く 、施 設 長 の 立 場 で あ っ て も 、多	（社 福 ） の 方 針 は 理 事 会 で 決 定 さ れ る 。理 事	判 断 に 苦 慮 し た 島 本 の 心 情 は 良 く 理 解 で き る	た 。順 調 に 進 む 工 事 に 暗 雲 が 立 ち こ め た 訳 だ
--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--

器	過	調	掛		範	機	技	額	当	制		構	こ	な	器	荷	思	割	高
は	し	査	け	昨	疇	の	術	も	す	御	空	え	と	い	を	計	い	に	齡
必	て	結	た	年	に	更	者	高	る	基	調	を	は	。	選	算	が	な	者
要	い	果	作	秋	該	新	の	く	。	板	大	大	で	技	定	を	共	る	や
な	た	か	業	、	当	は	業	、	空	に	切	に	き	術	す	行	存	。	乳
時	。	ら	は	空	す	、	務	常	調	な	に	し	な	者	る	い	す	松	幼
に	今	、	、	調	る	正	に	時	サ	。	障	て	い	の	。	、	る	尾	児
故	後	圧	空	改	。	に	、	の	イ	圧	で	い	。	信	同	最	。	の	の
障	の	縮	調	修		事	客	予	ク	縮	最	た	凡	念	時	適	そ	根	健
す	故	機	機	の		前	先	備	ル	機	も	。	庸	な	に	で	の	幹	康
る	障	は	の	相		提	へ	が	の	は	多		な	く	、	省	た	に	を
。	確	定	運	談		案	の	困	心	車	い		松	し	経	エ	め	は	守
運	率	期	転	を		が	助	難	臓	の	部		尾	て	濟	ネ	、	こ	る
転	は	更	調	受		必	言	な	部	と	位		は	、	性	性	の	こ	こ
し	高	新	査	け		要	が	部	品	云	は		、	自	の	の	の	と	も
な	か	の	で	、		と	あ	品	で	え	、		何	身	確	高	二	空	空
い	っ	目	あ	最		さ	る	で	あ	る	圧		よ	を	認	い	律	調	の
と	た	安	っ	初		れ	。	あ	る	。	縮		り	律	も	空	背	の	役
故	。	を	た	に		る	空	る	金	に	機		も	す	怠	調	反	の	役
障	機	超	。	手		る	調	。		相	と		心	る	ら	機	な		

の	の	ド	そ	遡		ば	に	短	体	先		持	空	電	な	成		し	は
国	C	ー	れ	る	ネ	か	頼	時	に	ず	頭	管	調	気	い	し	調	、	判
立	D	に	は	が	ッ	り	っ	間	、	は	と	理	改	料	こ	た	査	的	明
感	C	関	、	、	ト	だ	た	で	必	、	気	面	修	金	と	。	結	確	し
染	（	す	エ	若	検	。	時	資	要	感	持	で	は	の	。	果	を	に	な
研	疾	る	ボ	い	索		代	料	な	染	ち	、	、	低	同	踏	機	い	
究	病	設	ラ	時	で		に	が	情	症	を	有	入	減	時	ま	器	。	
所	予	計	出	代	用		比	揃	報	の	、	用	所	メ	に	え	状	予	
の	防	資	血	の	が		べ	っ	収	資	今	な	者	リ	、	、	態	防	
研	管	料	熱	業	足		、	た	集	料	回	事	の	ッ	最	を	す		
究	理	の	な	務	り		ネ	。	を	収	の	案	体	ト	新	診	る		
資	セ	作	ど	経	た		ッ	学	始	集	依	で	調	を	の	断	に		
料	ン	成	ー	験	一		ト	会	め	。	頼	あ	管	記	省	す	は		
を	タ	で	バ	が	因		社	論	る	ネ	に	っ	理	載	エ	る	運		
読	ー	あ	イ	役	に		会	文	。	ッ	切	た	と	し	ネ	し	転		
み	）	っ	オ	立	は		に	や	思	ト	り	。	、	た	機	か	時		
、	や	た	ハ	っ	、		感	出	い	検	換		施	。	器	な	間		
感	、	。	ザ	て	時		謝	版	の	索	え		設	早	の	資	を		
染	日	米	ー	い	代		す	図	外	を	る		の	期	特	料	。	把	
症	本	国		た	は		る	書	、	主	。		維	の	徴	を	作	握	



換		け	徹	久	重	ク	対	あ	染	事		設	ト	い		に	空	記	対
気	難	は	底	の	要	着	策	っ	と	項	収	備	ト	知	予	四	気	憶	策
、	題	行	し	郷	だ	用	が	た	は	が	集	技	が	識	備	苦	の	の	の
特	は	う	て	で	と	。こ	あ	。知	異	確	し	術	必	に	知	八	陰	引	イ
に	技	こ	い	あ	理	の	る	見	な	認	た	者	要	な	識	苦	圧	き	ロ
、	術	と	る	れ	解	基	。そ	に	り	で	資	の	。範	っ	を	し	制	出	ハ
陰	者	に	。憚	、	で	本	れ	基	、	き	料	観	困	て	全	た	御	し	を
圧	独	し	ら	間	き	的	は	づ	飛	た	を	点	と	い	て	苦	技	を	学
制	自	た	れ	違	た	な	、	け	沫	。コ	紐	で	基	る	机	い	術	開	ん
御	の	。対	る	い	。衛	衛	手	ば	を	ロ	解	の	準	。最	上	思	が	け	だ
と	対	策	が	なく	生	生	洗	、	媒	ナ	い	整	を	新	に	い	顔	る	。セ
気	で	あ	、	ス	管	対	い	確	体	感	く	理	大	知	広	出	を	と	ピ
流	あ		念	タ	理	策	。う	実	と	染	。直	を	分	識	げ	も	出	、	ア
形	る		押	ッ	に	が	が	に	し	症	ぐ	開	に	へ	。蘇	す	。今	で	色
成	。着		し	フ	注	、	い	で	接	は	に	始	絞	の	っ	。原	も	通	に
に	眼		の	全	意	何	。マ	き	触	、	重	し	り	ア	て	語	用	変	色
な	点		確	員	す	よ	。ス	る	感	空	要	た	込	ッ	く	の	す	色	し
る	は		認	が	る	り		感	染	気		。み	み	プ	る	読	る	した	た
。感			だ		悠	も		染	で	感			、	デ	古	解			



る	性	開				島	事	事	し	者	感	施	報	報	料		笹	い	分
た	表	始	現	①	く	本	の	を	て	様	染	設	が	告	は	笹	井	。	知
め	示	前	場	衛	理	に	継	完	い	の	者	ス	あ	を	短	井	が	今	っ
、	シ	に	作	生	事	理	続	了	る	健	ゼ	タ	る	託	時	と	担	回	て
毎	ル	は	業	環	会	事	を	す	。	康	ロ	ッ	。	す	間	の	当	の	い
日	を	抗	員	境	資	会	望	る	感	状	で	フ	夏	の	で	共	で	現	る
の	貼	原	は	面	料	へ	む	こ	染	態	、	の	前	み	完	同	、	場	。
朝	り	検	固	の	の	の	現	と	対	を	工	協	に	に	成	作	本	担	温
礼	ま	査	定	注	抜	説	場	は	策	考	事	力	は	な	し	業	当	当	厚
時	す	を	し	意	粹	明	関	、	に	え	完	と	、	っ	た	は	に	に	な
に	。	し	た	事	く	資	係	現	最	れ	了	笹	改	た	。	手	良	相	性
作	作	て	人	項		料	者	場	善	ば	は	井	修	。	際	よ	か	応	格
業	業	へ	員	(		を	の	の	を	、	可	の	工	こ	く	進	っ	し	で
手	時	ル	に	3		手	願	共	尽	空	能	の	事	の	。	み	た	い	、
順	間	メ	しま	密		渡	い	通	く	調	で	夏	は	島		、	人	物	人
と	を	ッ	す	の		し	を	認	し	改	あ	は	猛	本		、	物	で	当
内	短	ト	。	回		た	忍	識	、	修	れ	は	暑	に		説	あ	あ	り
容	縮	に	工	避		。	ば	だ	空	は	ば	了	の	理	明	る	る	も	。
の	す	陰	事	)			せ	。	調	切	入	し	予	事	資				良
確								工	工	迫	居	い		会					。

。

一	く		す			状	定	を	す			線	テ	作	施	単			認
あり	れた	資	。手	手	④	況	期	外	。作	室	③	を	ン	業	設	独	作	②	を
が	た	料	手	洗	そ	は	的	部	業	内	簡	完	で	す	入	の	業	入	全
と	。	を	袋	い	の	、	に	ま	範	作	易	全	エ	る	館	検	員	所	員
う		一	は	・	他	毎	風	で	囲	業	的	に	リ	居	後	温	は	者	で
ご		読	作	う		日	速	延	を	時	な	分	ア	室	は	・	専	様	行
ざ		し	業	が		の	を	長	カ	は	陰	離	分	と	、	手	用	と	い
い		、	ご	い		作	測	し	ー	、	圧	し	け	共	消	指	の	の	ま
ます		島	と	・		業	定	ま	テ	簡	制	ま	し	用	毒	消	作	す	。
。説		本	に	マ		前	し	。	ン	易	御	す	、	廊	室	毒	入	業	
明		が	交	ス		に	ま	外	で	的		。	工	下	で	コ	り	動	
資		労	換	ク		必	す	部	覆	な			事	の	全	ー	口	線	
料		い	し	着		ず	。	の	い	陰			関	身	消	ナ	を	分	
受		の	ま	用		確	外	排	、	圧			係	毒	毒	を	使	け	
け		言	す	を		認	部	気	排	制			者	を	を	設	用		
取		葉	。	基		し	の	確	気	御			以	し	置	置	し		
		を		本		ま	排	認	ダ	を			外	ま	し	ま	、		
		掛		と		す	気	す	ク	行			と	す	ま	す	屋		
		けて		し		。	口	る	ク	い			の	カ	す	。	外		
		て		ま			の	た	ト	ま			動	ー			に		

の	ワ		は	4	る	あ	自	ら	の	修			些	納	継		事	ま	り
現	ー	知	小	月	状	れ	粛	の	ク	工	感	□	少	得	続	島	の	す	ま
場	ク	事	さ	下	況	ば	や	自	ラ	事	染	2	は	し	を	本	皆	。後	し
監	業	の	な	旬	で	観	3	粛	ス	が	状	0	功	た	了	の	さ	は	た
理	務	自	第	か	幕	光	密	要	タ	続	況	2	を	よ	承	熱	ん	、	。無
も	に	粛	一	ら	を	客	防	請	ー	い	に	0	奏	う	し	意	を	私	理
リ	移	要	波	新	閉	で	止	が	が	た	注	年	し	だ	た	が	説	の	を
モ	行	請	で	た	じ	賑	が	発	発	。生	意	6	と	。松	。ど	伝	得	役	言
ー	し	を	あ	な	た	わ	主	令	し	3	し	月	云	尾	う	わり	し	目	い
ト	た	受	っ	感	。幸	う	な	さ	、	月	な	へ	う	と	や	、	す	で	ま
で	。そ	け	た	染	い	5	内	れ	4	下	が	コ	こ	笹	ら	理	す	し	
対	の	、	。松	者	な	月	容	た	月	旬	ら	ロ	と	井	、	事	ね	た	
応	た	松		も	こ	の	で	。不	1	に	、手	ナ	か	の	会	。し	。本		
し	め	尾		なく	と	連	あ	要	日	は	探	禍	。か	共	も	っ	。に		
た	、	の		、全	に	休	っ	不	に	大	り	の		同	改	か	感		
。笹	悠	社		国	、	は	た	急	は	分	の	改		作	修	り	謝		
井	久	も		的	大	、	。例	の	知	で	空	工		業	工	、	し		
と	の	テ		に	分	閑	年	外	事	最	調	事		が	事	理			
の	郷	レ		は	は	散	で	出	か	初	改	。)		、	も	の			

作	の	可	2	作	1		の	時	た	ル	で	あ	か		感	ト	見	通	連
業	プ	能	階	業	階	施	柱	に	。	が	は	る	っ	コ	が	調	常	絡	
プ	ラ	な	部	工	が	設	で	あ	そ	多	な	。	た	ロ	消	整	の	が	
ラ	イ	時	は	程	事	の	、	っ	の	く	か	現	。	ナ	え	を	監	、	
ン	バ	間	日	で	務	平	是	た	連	、	っ	場	短	禍	な	行	理	松	
で	シ	毎	中	、	部	面	非	。	絡	電	た	を	い	の	い	い	だ	尾	
あ	ー	に	の	1	門	構	と	陰	が	話	。	預	工	中	監	、	と	の	
っ	を	設	時	階	と	成	も	圧	、	連	笹	か	期	、	理	、	、	重	
た	、	定	間	部	デ	は	確	制	最	絡	井	る	に	改	業	現	定	要	
。	最	し	帯	は	イ	、	認	御	初	は	か	笹	加	修	務	場	例	な	
	大	て	、	夜	サ	2	し	は	に	ら	の	え	工	に	に	即	会	ラ	
	限	い	そ	間	ー	階	た	、	陰	相	の	、	事	な	座	に	議	イ	
	に	た	れ	と	ビ	が	い	技	圧	談	気	コ	は	っ	反	で	施	フ	
	考	。	も	休	ス	入	項	術	制	は	苦	ロ	想	た	映	主	主	ライ	
	慮	感	入	日	に	居	目	的	御	、	労	ナ	像	。	す	を	を	ン	
	し	染	居	の	な	者	で	な	を	主	は	以		る	含	め	に		
	た	と	者	併	っ	の	あ	感	実	に	、	上		。	め	た	な		
	笹	入	の	用	て	居	っ	染	施	メ	並	に			た	っ	な		
	井	居	移	、	い	室	た	対	し	ー	大	厳			意	っ	な		
	の	者	動		る	、	。	策	た	い	抵	し			、	た	っ		

。

「	開	閉	「	良	排	「	で	確	「	つ	分	手	が	を	が	想	つ	井	「
排	放	ま	気	い	気	そ	間	認	笹	聞	に	を	往	及	で	像	た	の	2
気	し	っ	に	居	ダ	う	違	し	井	き	言	尽	々	ぼ	き	以	電	階	
ダ	て	て	なる	室	ク	で	い	ま	さん	取	い	く	に	す	な	上	話	居	
ク	い	い	点	で	ト	す	な	す	ん	っ	聞	す	発	事	か	に	連	室	
ト	た	ま	が	す	距	°	い	が	、	て	か	必	生	態	っ	測	絡	部	
を	ら	し	あり	「	離	スタ	で	、	概	い	せ	要	す	が	た	定	を	の	
通	、	た	ます		も														

後	し	た		簡	が	尾	明	線		香	ま	よ	法	ば	て	い	光		め
も	ま	。念	一	易	排	の	カ	香	施	は	す	う	で	、	、	て	と	一	る
よ	す	の	松	的	気	考	ー	の	設	、	が	。煙	す	気	自	い	排	出	こ
ろ	。現	た	尾	だ	ダ	え	テ	予	で	島	、	が	が	流	然	ま	煙	来	と
し	場	め	さん	が	ク	通	ン	備	は	本	タ	良	、	測	対	す	を	る	は
く	は	、	、	、	ト	り	近	は	入	施	バ	い	計	測	流	。天	兼	範	無
お	一	排	確	陰	側	に	接	あ	所	設	コ	で	測	に	が	気	ね	囲	理
願	筋	風	認	の	に	、	部	っ	者	長	は	す	器	影	起	の	た	で	で
い	縄	機	で	確	、	床	の	た	を	に	N	ね	は	響	き	良	高	結	す
し	に	の	き	認	ほ	面	気	。譲	看	相	G	。タ	諦	が	や	い	窓	構	ー
ま	は	風	ま	に	ん	の	流	り	取	談	な	。タ	め	生	す	日	が	で	
す	行	量	した	は	の	少	確	受	こ	し	の	バ	、	じ	い	は	最	。共	
ー	き	ア	。煙	十	し	間	認	け	と	て	で	コ	別	る	で	、	上	用	
	ま	ッ	。煙	分	引	か	を	た	も	く	線	か	の	筈	。そ	高	部	廊	
	せ	プ	正	で	か	、	実	線	あ	だ	香	線	方	で	う	窓	の	下	
	ん	に	解	あ	れ	線	行	香	る	さ	で	香	に	。確	で	に	側	面	
	ね	も	で	っ	て	香	し	で	の	い	す	に	ま	認	あ	向	面	は	
	。今	挑	し	た	い	の	た	、	で	ー	ね	な	し	方	れ	か	に	、	
		戦		。煙	た	煙	松	透	、		。線	り	し		れ	つ	付	採	



朝	つ	な	い	の	有		り	心	は		井	気	る	試	者	し	月	と	
礼	た	っ	を	心	り	笹	に	な	、	緊	と	を	こ	運	と	た	下	は	そ
の	。松	た	決	を	難	井	、	状	会	急	の	抜	と	転	の	。屋	旬	云	の
最	尾	以	心	救	い	に	悠	況	社	事	連	く	が	を	直	外	に	え	後
初	の	上	し	う	報	連	久	にな	も	態	絡	こ	あ	実	接	の	は	、	は
は	小	、	た	。即	告	絡	の	つ	通	宣	を	と	る	施	的	仮	、	概	、
定	さ	少	。監	座	を	を	郷	た	常	言	密	は	。6	す	な	仮	概	ね	笹
番	な	し	理	に	受	入	を	こ	勤	が	に	で	月	る	接	設	の	の	井
の	矜	も	業	、朝	け	れ	訪	と	務	解	行	き	2	た	触	階	室	工	の
ラ	持	現	務	礼	た	と	れ	も	に	除	う	な	0	、	は	段	外	事	メ
ジ	で	場	の	か	。順	、	た	あ	戻	さ	こ	。気	日	な	し	を	機	内	ー
オ	あ	の	大	ら	調	順		り	し	れ	と	を	の	。た	使	使用	廻	容	ル
体	っ	苦	半	の	の	調		、	。少	た	し	引	引	は	。た	す	り	が	通
操	た	労	が	現	言	で		松	し	5	た	き	渡	居	だ	る	の	把	し
、	。	を	リ	場	葉	す		尾	だ	月	。	締	し	室	、	た	工	握	、
音		知	モ	立	は	と		は	け	1		め	ま	に	。系	め	事	で	リ
楽		り	ト	ち	監	の		久	、	7		、	で	立	。統	、	に	き	モ
に		た	に	会	理			し	安	日		は	は	ち	毎	入	移	た	ト
合		か			者			振		以		笹	は	入	の	所	行	。5	

距離を阻害するコロナ禍の象徴に思えた。普遍的	板が、テールブル中央に置かれていた。人の	さを忘れてしまおう。ただ、無機質なアクリル	茶色で統一された家具、一瞬コロナ禍の殺伐	る。白と黒柿色が基調なシックな内装、こげ	の椅子に座り、懐かしい室内の息吹を確かめ	を握る資料であつた。センタートーブル中央	した一部始終が甦つてくる。工事継続の命運	久し振りの応接室、島本に理事會資料を託	1階の応接室に足を運んだ。	会う旨の回答があり、検温・手指消毒を行い	ホンで、島本に來訪の旨を伝える。応接室で	用の出入りに向かう。備え付けのインタール	していった。一人になつた松尾は、作業員専	入念な作業確認を行い、屋上と建物内に分散	ラジオ体操後、笹井と作業員は手順通りに	明日を作る第一歩になつている。	たところがある。諦めずに継続すること、	とも不思議である。考えれば技術の世界も似	わせ体を動かす。自然に覚えていた動作が何
------------------------	----------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	---------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	-----------------	---------------------	----------------------	----------------------

の		夫	作	意	論	見	た		方	す	入	期	の	い	す		か	染	通
勉	ー	で	業	味	、	ま	い	ー	が	。	所	の	説	に	。	に	の	に	
強	今	す	員	を	生	し	で	そ	大	ど	者	前	明	助	現	開	先	過	
を	回	。	の	理	活	た	す	れ	事	う	の	に	を	か	場	い	行	ご	
し	の	監	意	解	の	。	ね	は	み	や	中	は	し	っ	は	た	き	せ	
ま	資	理	識	し	た	や	。	、	た	ら	に	、	て	て	さん	。	に	る	
し	料	者	が	た	め	る	先	良	い	、	は	工	く	い	、		思	日	
た	を	冥	高	表	も	気	程	か	で	コ	、	事	れ	ま	元	い	常		
。	作	利	い	情	あ	の	、	っ	す										

結	府	そ	た		設	爆	心	い	く	当	ナ	能	が	致		の	い	威	新
果	の	の	時	S	の	発	に	く	、	な	ウ	に	明	死	S	感	状	で	型
、	感	時	、	A	病	的	無	°	本	ほ	イ	な	確	率	A	染	況	す	コ
P	染	点	日	R	床	に	症	悪	人	ど	ル	っ	に	は	R	を	で	°	ロ
C	症	で	本	S	が	拡	状	い	が	、	ス	て	現	高	S	考	す	決	ナ
R	対	の	で	や	不	散	の	こ	気	賢	は	い	れ	か	M	え	°	定	ウ
検	策	科	の	M	足	し	人	と	付	く	、	た	、	っ	E	れ	収	的	イ
査	を	学	影	E	す	て	が	に	か	変	サ	°	感	た	R	ば	束	な	ル
機	見	的	響	R	る	い	多	、	な	異	イ	と	染	が	S	、	る	治	ス
器	直	検	は	S	°	く	い	行	い	し	レ	こ	の	、	の	悲	手	療	は
の	す	証	小	が		°	そ	動	ま	て	ン	ろ	初	体	の	し	段	薬	人
拡	絶	が	さ	パ			の	範	ま	い	ト	が	期	温	感	い	が	や	類
充	好	重	か	ン			た	囲	に	た	キ	、	段	が	染	限	予	防	に
や	の	要	っ	デ			め	の	感	°	ラ	今	階	高	で	り	防	と	っ
、	機	あ	°	ミ			、	広	染	無	丨	回	で	い	は	で	ワ	っ	て
嚴	会	あ	本	ッ			感	い	を	症	の	の	の	な	、	す	ク	最	大
密	で	っ	来	ク			染	若	拡	状	新	新	隔	ど	重	ー	チ	の	大
な	あ	た	は	に			者	者	大	者	型	コ	離	の	症		ン	が	の
水	っ	°	、	な			が	を	し	が	コ	ロ	が	状	化		が	の	脅
際	た	政		っ			施	中	て	多	妥		可	状	や		後	な	

。

シ	に	護	護	ー	ら	者	に		い	も	す	ば	身	ス	て		要	が	対
ー	な	で	で	ル	マ	が	し	ー	つ	そ	。ス	、施	が	ク	い	ー	因	、感	策
ル	り	す	し	ド	ス	多	て	松	ま	う	スタ	施設	感	の	松	に	染	を	
ド	ま	。と	た	も	ク	い	く	尾	で	で	ツ	以	染	高	尾	繋	第	政	
は	し	こ	。認	付	や	で	だ	さん	。そ	。そ	フ	外	し	い	さん	が	一	策	
異	た	ろ	知	け	手	す	さい	を	こ	こ	に	の	ない	高	、	つ	波	面	
物	。マ	が	症	ま	袋	。介	い	信	が	が	は	社	い	齡	介	て	の	に	
に	ス	、突	の	す	を	護	。特	じ	は	コ	家	会	こと	者	護	い	抑	反	
見	ク	然	高	。従	し	ス	養	て	コ	ロ	族	を	が	で	ス	た	制	映	
え	は	に	齡	来	ま	タ	の	話	ロ	ナ	が	遮	絶	。先	タ	。制	に	で	
ま	ま	、触	者	は	す	ツ	場	し	ナ	感	あ	断	対	ず	ッ	、	、	き	
す	だ	れ	が	、直	。更	フ	合	ま	染	染	り	す	で	は	フ	大	き	な	
。そ	し	合	、安	接	に	は	は	す	の	の	ま	る	す	、	は	き	く	か	
ん	も	い	心	触	、フ	、感	認	が	怖	怖	す	必	。極	ス	入	立	立	っ	
な	、フ	が	で	れ	ェ	染	知	、こ	さ	さ	。勿	要	端	タ	所	ち	。こ	た	
介	フェ	が	き	合	ィ	防	症	こ	で	で	論	が	に	ッ	者	後	の	こ	
護	ィ	N	る	う	ス	止	の	こ	す	す	、私	あ	言	フ	は	れ	こ	と	
に	ス	G	介	介	シ	か	入	だ	。私	。私	ま	り	え	自	感	る	と	と	
安							所	け						自	染				

に	し		時	に	話	で	設	修	す	で	る	こ		葉	音		で	い	心
は	ま	一	間	何	を	も	経	す	ぐ	、	こ	こ	一	を	を		き	か	す
感	し	私	を	が	聞	、	営	る	夏	引	と	は	島	必	吐	い	な	、	る
謝	た	こ	く	で	い	コ	に	空	本	き	で	、	本	死	露	つ	い	い	と
し	°	そ	だ	き	て	ロ	役	調	番	渡	°	今	さん	に	す	の	現	つ	思
て	気	、	さ	る	、	ナ	立	機	で	す	施	回	、	探	る	島	実	も	い
い	に	申	い	か	何	禍	つ	器	す	こ	設	の	申	し	思	本	は	心	ま
ま	し	し	ー	、	故	の	こ	が	°	と	と	空	し	°	い	で	、	配	す
す	な	訳		必	だ	今	と	、	猛	だ	現	調	訳		の	は	本	し	か
°	い	な		死	か	は	が	省	暑	け	場	改	ない		強	な	当	て	°
空	で	か		に	心	違	、	エ	の	を	作	修	で		さ	か	に	い	ス
調	く	っ		探	が	い	今	ネ	予	考	業	工	す		に	っ	辛	ま	タ
改	だ	た		し	ざ	ま	回	特	報	え	員	事	°		、	た	す	°	ッ
修	さ	で		ま	わ	す	の	性	も	て	の	を	私		松	°	ぎ	°	フ
は	い	°		°	つ	°	私	を	あ	い	感	無	に		尾	堰	ま	本	心
数	°	愚		少	き	島	の	発	り	ま	染	事	で		は	を	す	来	が
年	松	痴		し	ま	本	役	揮	ま	す	者	に	き		応	切	ー	の	折
来	尾	を		だ	す	さ	目	し	°	°	ゼ	完	る		え	っ		介	れ
の	さ	溢		け	°	ん	で	、	改	も	ロ	了	言		る	て		護	な
懸	ん				私	の	す	施	う	う	口	す	る		本			が	な

一	面	頼	ト	き	検	会			結	ど	統	特	負	は	夕	特		ま	案
3	会	る	対	ま	討	を	一	申	ぶ	、	の	性	荷	朝	方	性	省	す	事
月	に	相	応	せ	し	考	コ	し	こ	既	朝	を	特	方	前	の	エ	。	項
か	協	手	を	ん	て	え	ロ	訳	と	に	方	活	性	が	に	把	ネ	こ	で
ら	力	は	付	。	い	て	ナ	な	を	笹	は	用	を	大	熱	握	運	れ	し
は	し	松	加	多	ま	い	禍	さ	信	井	7	す	理	き	負	に	転	か	。
、	て	尾	す	忙	す	ま	の	そ	じ	に	0	る	解	く	荷	な	繋	ら	省
従	く	さん	る	な	が	す	今	う	たい	に	%	具	す	な	が	。	が	も	エ
来	れ	し	こ	業	、	。	、	、	。	、	昼	体	意	。	大	西	る	、	ネ
の	ま	しか	と	務	そ	ネ	施	島		、	過	的	味	日	き	陽	王	協	運
面	す	い	は	の	の	ッ	設	本		、	ぎ	な	合	射	く	が	道	力	転
会	か	ませ	で	スタ	ま	ト	で	が		。	か	制	い	の	な	差	は	を	の
を	ー	せん	ま	タ	ま	環	は	言		こ	ら	御	は	影	。	し	、	お	提
中		。	ま	ッ	任	境	リ	葉		の	は	数	大	響	反	込	施	願	案
止		リ	せん	フ	せ	は	モ	を		指	1	値	き	が	対	む	設	い	も
に		モ	。	、	る	スタ	ト	続		示	0	は	い	大	に	西	の	す	頂
し		ー	や	リ	は	ッ	で	け		が	0	、	。	き	、	面	熱	ー	い
ま		ト	はり	モ	い	フ	の	る		実	%	西	こ	い	東	は	負		て
し				ー		が	面	。		を	な	側	の	熱	面	、	荷		い

母		に	識	弱	く	り	介	薄	姿	ん		に	た	い	た	あ	す	ー	た
親	次	包	は	い	逆	に	し	化	。	で	話	し	。	工	だ	り	。	ホ	。
が	の	ま	難	。	光	顔	て	粧	J	き	の	ま	そ	夫	、	入	ン	代	
介	映	れ	し	見	に	を	会	の	A	た	端	し	の	は	家	所	や	わ	
護	像	、	い	慣	な	近	話	妻	キ	。	々	た	結	な	族	者	、	り	
ス	は	柔	。	れ	っ	づ	を	が	ヤ	最	か	ー	果	い	が	の	玄	に	
タ	玄	ら	そ	た	て	け	し	、	ッ	初	ら		、	か	、	多	関	、	
ッ	関	か	れ	家	い	る	て	2	プ	は	、		リ	、	家	く	ド	屋	
フ	ド	な	で	族	る	。	い	階	を	玄	面		モ	介	族	は	ア	外	
と	ア	表	も	の	。	悪	る	の	被	関	会		ー	護	に	地	越	に	
一	越	情	、	顔	高	い	。	父	り	横	す		ト	ス	は	域	し	増	
緒	し	を	会	と	齡	こ	画	親	筋	の	る		面	タ	理	の	で	設	
に	の	し	え	は	者	と	面	と	肉	屋	家		会	ッ	解	方	の	し	
近	面	て	た	云	の	に	が	イ	質	外	族		を	フ	を	な	面	た	
付	会	い	こ	え	視	、	小	ン	の	に	の		実	と	頂	の	会	T	
い	、	た	と	、	野	陽	さ	タ	中	佇	映		現	相	い	で	を	V	
て	車	。	の	明	や	射	く	ー	年	む	像		す	談	ま	、	し	付	
く	椅		安	確	視	し	、	ホ	男	夫	が		る	し	す	不	て	イ	
る	子		堵	な	力	が	し	ン	性	婦	浮		こ	ま	。	便	い	ン	
。	の		感	認	は	強	き	を	と	の	か		と	し	良	は	ま	タ	



折	い	ん	す	た		い	本	人	だ		現	先	コ			合	し	手	母
に	る	の	。ご	い	「	と	さ	の	、	「	実	、	ロ	娘	「	い	い	を	親
触	娘	勸	主	入	担	思	ん	会	ネ	島	は	親	ナ	が	お	を	か	伸	の
れ	さ	め	人	所	当	い	で	社	ッ	本	誰	子	禍	話	母	阻	な	ば	目
施	ん	で	を	者	は	ま	良	に	ト	さん	も	の	の	す	さん	害	、	す	は
設	が	入	早	が	私	す	い	相	通	、	が	交	触	。無	元	す	無	母	ド
を	一	所	く	い	で	の	で	談	信	で	知	流	れ	言	気	る	機	親	ア
訪	人	し	に	ま	良	で	す	し	の	き	っ	に	合	で	？	。質	、	越	し
ね	で	ま	亡	す	い	「	か	て	専	る	て	は	い	微	良	な	即	の	越
て	す	し	く	。荒	で		。早	み	門	こ	い	限	が	笑	か	玄	座	の	し
く	。良	た	さ	木	す		速	ま	知	と	た	界	あ	む	関	に	娘	の	娘
れ	く	。お	れ	和	と		、	す	識	は		が	つ	母	ド	反	に	注	に
ま	で	子	、	子	こ		段	。施	は	協		あ	た	親	ア	応	注	が	が
す	き	さん	2	さん	ろ		取	設	乏	力		る	。感	。こ	、	す	る	れ	れ
。荒	た	は	年	と	で		り	の	し	し		こ	染	こ	親	娘	の	る	。思
木	娘	東	前	言	、		を	窓	い	ま		の	防	こ	子	の	手	。思	わ
さ	さん	京	に	い	紹		始	口	の	す		切	止	で	の	触	。悲	ず	ず
ん	ん	に	娘	ま	介		め	は	で	。た		ない	が	も	れ	れ			
は	で		さ		し		た	島	、	知		い	優	、	「				

「	あ	佇	が	シ		れ		側		る	な	初		原	た	リ	ス	「	と
こ	ろ	ま	良	ョ	な	ま	「	の	島	話	る	に	驚	検	。松	モ	タ	あ	に
ん	う	い	く	ー	る	す	島	椅	本	し	陰	実	く	査	尾	ー	ツ	り	か
に	か	は	似	ル	ほ	。あ	本	子	と	に	圧	施	こ	で	さ	ト	フ	が	く
ち	。荒	、激	合	を	ど	り	さん	に	一	な	作	した	と	陰	ん	面	の	と	素
は	木	動	つ	肩	、	が	、	腰	緒	つ	業	居	、	性	、	会	間	う	敵
「	の	の	い	に	気	と	い	を	に	た	の	室	荒	で	一	も	で	「	な
	歩	昭	る	掛	配	う	つ	掛	、	。荒	端	で	木	し	度	、	、	の	人
	ん	和	。背	け	り	ご	も	け	荒		緒	あ	の	た	実	人	言	で	
	だ	を	筋	、シ	の	ざ	皆	た	木		に	っ	居	ね	は	気	葉	す	
	人	生	も	ョ	人	い	さ	荒	の		な	た	室	「	ス	N	が	。ス	
	生	き	伸	ー	で	ま	ん	木	居		っ	。改	は		タ	O	、優	タ	
	が	た	び	ト	あ	す	が	が	室		い	修	、		ッ	1	し	ッ	
	偲	女	、凜	カ	っ	「	優	振	に		た	工	陰		フ	の	く	フ	
	ば	性	と	ッ	た		し	り	入		。縁	事	圧		が	入	響	に	
	れ	の	矜	ト	。浅		く	向	室		を	の	確		発	所	き	掛	
	た	の	持	の	黄		し	き	す		感	肝	認		案	者	ま	け	
	。荒	持	た	髪	色		て	、	。窓		じ	に	を		し	で	す	る	
		で	た	形	の		く						最		抗	し	。抗		

逸	い		て	は		て		ま	し	そ	ま	が			頑	改			
だ	る	聡	く	、	「	れ	「	し	た	こ	す	あ	「	張	修				
。	筈	明	だ	娘	そ	ば	こ	た	。	こ	が	り	「	り	を	「			
俄	だ	な	さ	と	う	嬉	ん	「	そ	で	、	ま	荒	で	担	紹	島	松	
然	が	女	い	の	で	し	に		れ	、	リ	。	木	、	当	介	本	尾	
と	、	性	。	連	す	い	ち		で	、	モ	娘	さん	し	した	さん	向		
興	若	だ	娘	絡	か	で	は		、	無	ー	さ	、	た	設	、	か		
味	々	と	の	が	、	す	、		理	を	ト	ん	松	。	備	こ	っ		
が	し	直	連	必	有	。	松		を	を	で	が	尾	設	ち	て	、		
湧	い	感	絡	要	り	よ	尾		言	知	の	遠	さん	計	ら	荒	木		
い	物	す	先	で	難	ろ	と		っ	恵	の	方	を	士	の	が	軽		
て	腰	る	を	す	い	し	言		て	を	借	と	紹	で	方	が	く		
く	や	。	メ	ね	こ	く	い		、	り	る	云	介	す	は	会	積		
る	即	8	モ	。	と	お	ま		同	こ	考	う	す	。	ど	な	会		
。	座	0	し	ち	で	願	す		席	と	え	こ	る	松	な	た	積		
こ	の	歳	ま	よ	す	い	。		し	に	て	と	の	尾	？	「	を		
れ	判	は	す	と	そ	ま	お		貫	し	い	も	は	さん	」	す	る		
で	断	超	か	待	れ	す	役		い	ま	す	あ	理	の					
は	が	え	ら	っ	で	「	に			す	。	り	由						
、	秀	て	「				立												

な	に		娘	た	山	列	て	伝		際	も	で	た	詣		く	て	は	島
応	母	取	の	。一	の	挙	く	え	多	の	何	あ	り	の	リ	る	い	、	本
対	親	り	由	点	指	し	れ	る	忙	良	度	。あ	が	深	モ	。一	た	娘	の
を	か	急	美	目	示	て	た	。如	な	い	か	。知	あ	い	ト	書	。達	の	思
し	ら	ぎ	の	は	に	く	。更	才	植	仕	一	人	っ	協	面	は	筆	平	惑
て	の	、	ネ	施	従	れ	に	ない	山	事	緒	た	。ネ	力	会	人	な	井	通
く	連	由	ッ	設	え	た	、	い	に	振	に	。ネ	者	者	の	な	由	り	の
れ	絡	美	ト	の	ば	。流	大	会	電	り	し	ツ	が	が	実	り	美	の	展
た	を	と	知	W	良	石	至	話	話	が	て	ト	必	要	現	一	名	開	だ
。必	受	の	識	i	い	の	急	の中	入	印	い	ワ	要	だ	に	と	前	。手	渡
要	け	連	あ	F	。指	判	確	に承	れ	象	。I	ク	だ	っ	は	一	と	。手	渡
項	て	絡	っ	i	示	断	認	諾の	る	に	T	大	た	。適	層	の	連	。手	渡
目	いた	を	た	環	内	で	す	旨を	。手	残	に	分	。適	者	と	興	絡	。手	渡
の	様子	先行	。先	境	容	あ	べき	を伝	短	っ	精	の	任	の	味	の	先	。手	渡
み	で	す	。先	、二	は二	。後	項目	え	に	て	通	植	者	心	が湧	が記	。手	。手	渡
確	、	。事	。先	点	つあ	は	目を	を	概	い	し	山	の	当	い	入さ	。手	。手	渡
認	丁	前	。先	目	あ	植	をも	え	略	。手	、手	仕	心	当	。手	れ	。手	。手	渡
し	寧			は	つ				を		手	事	次						
、																			

荒木のリーモーター面会の実現は、Wi-Fi環境	か、木霊した。	結果に、「やったね」の思いが、胸の奥で静	に比べて大幅に低下した。技術者冥利に尽きる	効果を発揮し、一日の電力使用量が、改修前	達成できた。提案した空調機の運転入力値も	期間中のコロナ感染者はゼロ。当初の目標が	空調改修工事は予定通りに完了した。工事	□2020年7月（リーモーター面会）	じる。きつと、この仕事も上手くいく筈だ。	の。ある人との仕事は、心の片隅に爽快感を感	になつた。物事が進むときの常だが、責任感	その日は、植山と数度に渡る電話のやり取り	の発注を、植山の会社へ委託する了解を貰う	未設置との回答があった、即座に、設置工事	施設Wi-Fi環境を島本に確認すると、	いた。まるで、双子のような親子であつた。	さだけでなく、少し低音な声質も母親に似て	つたが、人となりは十分に判断できた。聡明	その後、対応は植山に任せた。短い会話であ
-------------------------	---------	----------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	--------------------	----------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

の	た	の		間	リ	は	更	ブ	長	に	る		い	に	だ	急	キ	か	境
対	。	郷	リ	の	モ	準	に	レ	け	似	。	由	た	奔	。	激	ヤ	り	の
応	植	に	モ	制	ー	備	、	ッ	て	て	面		。	走	に	ン	、	整	
は	山	向	ト	約	ト	万	新	ト	い	、	会			す	増	ペ	7	備	
見	が	か	面	付	面	端	た	端	た	聡	は			る	し	ー	月	工	
事	要	っ	会	と	会	と	な	末	。	明	学			関	さ	ン	の	事	
で	求	た	当	し	の	な	専	と	施	で	校			係	を	の	下	と	
あ	す	。	日	た	開	っ	用	Z	設	闊	の			者	増	影	旬	、	
っ	る	車	は	。	始	た	配	O	で	達	夏			の	す	響	に	由	
た	N	中	、		は	。	線	O	は	な	休			熱	コ	も	な	美	
。	E	の	植		1	荒	も	M	今	由	中			意	ロ	あ	っ	の	
通	T	話	山		0	木	敷	ア	後	美	の			は	ナ	り	た	日	
信	環	題	を		時	親	設	プ	の	は	日			、	禍	、	。	程	
速	境	は	同		、	子	し	リ	こ	、	程			十	で	コ	政	調	
度	に	由	乗		時	に	、	を	と	ネ	に			分	、	ロ	府	整	
や	対	美	し		間	相	ネ	導	を	ッ	し			に	リ	ナ	の	に	
w	し	に	、		も	談	ッ	入	考	ト	た			伝	モ	感	G	時	
e	、	集	悠		1	の	ト	し	え	操	。			わ	ー	染	o	間	
b	由	中	久		0	上	環	た	、	作	母			っ	ト	者	T	が	
カ	美	し			分	、	境	。	タ	に	親			て	面	は	o	掛	
															会	と			

て	の	紅	掛	少		環	に	島	っ	る		じ	神	い	知	逸	秀	な	メ
い	ス	潮	け	は	軽	境	設	本	た	車	車	る	秘	で	っ	な	さ	回	ラ
る	ク	し	て	緊	い	も	置	と	コ	は	中	こ	の	い	て	の	を	答	仕
。	エ	て	い	張	声	万	し	一	ロ	、	の	と	世	る	い	だ	褒	が	様
真	ア	い	た	感	掛	全	た	緒	ナ	施	会	が	界	人	る	。	め	返	、
珠	ネ	た	。	を	け	の	W	に	感	設	話	で	を	類	。	情	た	つ	植
の	ッ	。	薄	漂	を	よ	i	荒	染	の	が	き	、	に	母	報	が	て	山
ネ	ク	紺	く	わ	し	う	F	木	防	駐	一	た	荒	脈	親	技	、	く	の
ッ	の	系	化	せ	て	だ	i	の	止	車	段	。	木	々	の	術	そ	る	間
ク	カ	統	粧	、	、	。	ア	居	対	場	落		親	と	D	に	れ	。	い
レ	ッ	の	を	今	荒		ン	室	策	に	し		子	繋	N	も	は	植	掛
ス	ト	パ	し	日	木		テ	を	を	到	た		と	が	A	柔	違	山	け
が	ソ	ン	た	も	の		ナ	訪	行	着	頃		の	る	を	軟	う	は	に
、	丨	ツ	顔	窓	居		が	れ	い	し	、	交	流	D	、	に	。	東	、
久	が	に	が	側	室		新	。	、	た	松	流	を	N	上	対	由	京	そ
し	良	、	、	の	に		い	共	そ	。	尾	通	通	A	手	応	美	の	の
振	く	淡	ほん	椅子	入		。	用	の	習	の	し	し	、	に	す	個	教	都
り	似	い	の	子	る		通	廊	後	慣	運	、	、	受	受	る	人	師	度
の	合	藤	り	に	。		信	下	は	に	転	感	、	け	術	術	が	の	明
対	っ	色		腰	些				、	な	す		感	の	継	を	秀	優	確

「	ん	っ	宅	度		し		リ	信	て	カ		で		す	で	い		面
由	、	た	で	3	「	遅	タ	モ	す	順	メ	植	す	「	。	話	ま	「	を
美	義	か	過	年	母	れ	ブ	ー	る	調	ラ	山	か	そ	さ	し	す	皆	寿
ち	昭	ら	ご	前	さ	、	レ	ト	。	。	・	が	ら	の	て	ま	。	さ	ぐ
ゃ	が	、	し	か	ん	恥	ッ	面	返	早	タ	一	「	ま	、	し	愉	ん	ア
ん	大	母	た	、	、	じ	ト	会	信	速	ブ	つ	ま	で	私	た	し	お	ク
、	好	さ	最	卒	ネ	ら	画	が	の	、	レ	一	ま	は	が	み	揃	セ	ン
仕	き	ん	後	寿	ッ	い	面	開	ア	東	ッ	つ	結	何	、	に	い	で	ト
事	だ	笑	の	を	ク	気	に	始	ク	京	ト	準	構	を	し	し	て	、	に
忙	か	顔	年	祝	レ	味	由	さ	セ	の	・	備	で	た	美	い	今	な	っ
し	ら	で	だ	つ	ス	な	美	れ	ス	由	ス	を	す	ら	の	ま	日	な	っ
い	「	一	た	時	似	声	の	。	を	美	ピ	進	。	良	顔	し	は	あ	っ
？		杯	。	の	合	が	姿		受	に	ー	め	準	い	を	た	。	り	て
コ		だ	義	お	っ	流	が		け	招	カ	て	備	で	見	。	昨	が	い
ロ		っ	昭	祝	て	れ	登		、	待	ー	い	は	す	る	。	日	と	。
ナ		た	も	い	い	て	場		施	メ	音	く	私	か	の	。	も	う	
禍		よ	一	ね	る	く	す		設	ー	量	。	達	「	は	。	電	ご	
で		。	緒	。	よ	る	る		最	ル	、	w	の		別	。	話	ざ	
大		母	だ	自	。	。	。		初	を	す	e	役		物				
		さ			丁		少		の	送	べ	b	目		で				



だ	の	で	ス	わ	今		い	一	幸	愛		多	っ	の	そ	の		ら	変
か	。	し	は	。	日	ー	日	の	せ	情	遠	く	て	先	の	教		、	じ
ら	注	よ	怖	最	は	母	常	愉	で	深	く	い	輩	ま	師	平	義	や	
、	意	う	い	近	久	さ	の	し	、	く	た	。	教	ま	で	井	昭	な	
っ	す	。	よ	の	し	ん	一	み	黙	見	れ	子	師	東	あ	義	さ	い	
い	る	気	。	話	振	、	コ	は	っ	守	た	宝	で	京	る	昭	ん	？	
っ	の	を	学	だ	り	帰	マ	、	て	っ	由	に	、	都	。	は	と	私	
い	も	抜	校	け	に	省	を	由	見	て	美	恵	最	の	由	美	仲	の	
声	可	く	は	ど	母	で	語	美	守	い	の	ま	初	教	美	夫	良	こ	
が	哀	と	大	、	さ	き	り	夫	る	た	行	れ	の	師	は	く	く	と	
大	想	、	変	母	ん	な	合	婦	芯	。	く	な	赴	に	東	し	は	は	
き	だ	直	。	さ	に	く	う	が	の	由	末	か	任	な	京	て	気	に	
く	け	ぐ	今	ん	会	て	こ	帰	強	美	を	っ	先	っ	の	ね	し	な	
な	ど	に	の	、	え	ゴ	と	省	さ	の	あ	た	の	た	学	。	な	く	
る	、	マ	担	コ	て	メ	で	し	が	幸	荒	。	学	。	校	義	て	良	
の	感	ス	任	ロ	、	ン	あ	、	あ	せ	木	二	で	昭	知	昭	。	い	
ー	染	ク	が	ナ	安	な	っ	何	っ	が	大	人	り	は	り	は		か	
	が	を	2	ウ	心	さ	た	気	た	荒	分	だ	合	由	合	業			
	心	外	年	イ	し	い	。	な	。	木	で	が		美		し			
	配	す	生	ル	た	。			唯	の		、			、	校			

山	荒	っ	に	室		に	こ	時	う	距	す	ー	深	ま		り	な	を	
が	木	た	荒	内	設	目	こ	間	に	離	べ	ト	い	っ	開	に	く	守	ー
荒	親	が	木	に	定	配	か	が	伝	の	て	ゆ	親	た	始	な	て	つ	由
木	子	、	の	静	し	せ	ら	流	播	壁	は	え	子	面	か	る	ゴ	て	美
の	に	密	居	寂	た	し	は	れ	す	を	愛	に	に	会	ら	義	メ	あ	ち
タ	断	度	室	が	面	、	親	て	る	越	情	、	は	は	数	昭	ン	げ	ゃ
ブ	り	の	の	戻	会	松	娘	い	敬	え	が	多	、	、	分	さ	ね	て	ん
レ	を	濃	扉	つ	時	尾	だ	る	虔	、	解	少	距	次	が	ん	。	。	、
ッ	入	い	を	た	間	は	け	。	な	言	決	言	離	第	経	が	で	離	大
ト	れ	リ	ノ	こ	は	そ	の	残	思	葉	し	葉	感	に	過	い	も	れ	変
に	、	モ	ッ	と	、	っ	方	り	い	の	て	が	は	熱	し	る	、	て	ね
近	通	ー	ク	を	大	と	が	時	が	奥	い	遅	関	を	た	か	安	い	。
づ	信	ト	す	確	幅	退	良	間	伝	底	た	れ	係	帯	。	ら	心	る	し
く	を	面	る	認	に	室	い	が	わ	に	。	て	な	び	戸	。	し	か	っ
。	遮	会	。	し	過	し	。	気	り	、	親	聞	か	て	惑	。	て	ら	か
キ	断	に	短	、	ぎ	た	島	に	、	さ	子	こ	っ	く	い	。	い	、	り
ー	す	な	い	遠	て	。	本	な	優	ざ	の	え	た	る	が	わ	。	何	と
ボ	る	っ	時	慮	い		と	っ	し	波	る	。	。	。	。	。	も	子	供
ー	。	た	間	勝	た		植	た	い	の	が	が	リ	愛	に	。	で	。	達
ド	植	。	だ	ち	。		山	。		よ	が	、	モ	情	始	頼	き		

に	伸	び	た	植	山	の	手	が	、	一	瞬	止	ま	っ	た	。	視	線	が
画	面	に	釘	付	け	に	な	っ	て	い	る	。	画	面	か	ら	は	、	由
美	の	頬	を	濡	ら	す	涙	が	見	え	た	。	も	う	少	し	だ	け	、
回	線	を	接	続	し	て	お	き	た	い	。	松	尾	も	高	ぶ	る	感	情
を	止	め	る	こ	と	が	で	き	な	い	。	本	来	、	面	会	時	間	に
意	味	は	な	い	。	事	務	的	な	事	情	で	し	か	な	い	。	大	切
な	こ	と	は	、	心	と	心	の	触	れ	合	い	で	あ	る	。	コ	ロ	ナ
禍	の	中	、	多	く	の	思	い	が	積	層	し	、	リ	モ	ー	ト	面	会
が	実	現	し	た	。	そ	し	て	今	、	琴	線	に	触	れ	る	場	面	に
立	ち	会	え	た	。	で	き	れ	ば	、	も	う	少	し	続	け	て	い	た
い	。	後	ろ	髪	を	引	か	れ	る	思	い	で	あ	っ	た	。			
終	わ	っ	て	も	良	い	で	す	か	ー									
辛	そ	う	に	眩	く	島	本	の	言	葉	に	、							
一	結	構	で	す	。	由	美	ち	ゃ	ん	も	良	い	わ	よ	ね	ー		
画	面	の	由	美	が	、	承	諾	の	合	図	で	頭	を	下	げ	て	い	
る	。	握	っ	た	拳	に	は	白	い	ハ	ン	カ	チ	が	あ	っ	た	。	
今	日	一	は	い	、	よ	ろ	し	く	お	願	い	し	ま	す	。	皆	さ	ん
礼	を	述	べ	る	由	美	の	言	葉	が	、	植	山	の	背	中	を	押	

木	次	芯		り	し	様	た		る	折	木	止		を	二	で	る	名	す
の	の	が	荒	ま	上	で	。	一	こ	り	が	め	片	願	人	き	。	残	。
人	世	強	木	す	げ	、	皆	今	と	た	、	る	付	う	の	た	も	惜	つ
と	代	く	の	が	ま	愉	さ	日	を	た	凜	声	け	し	心	筈	っ	し	い
な	に	聡	眼	、	す	し	ん	は	促	た	と	が	が	か	の	だ	と	さ	に
り	伝	明	に	ほ	。	い	の	嬉	し	み	し	聞	完	な	奥	。	が	、	、
を	え	な	、	ん	こ	時	気	し	た	の	た	こ	了	か	底	人	渦	植	山
学	た	荒	う	の	こ	間	持	か	。	椅	面	え	し	っ	に	の	を	の	手
ぶ	い	木	っ	少	か	を	ち	っ		子	持	る	、	た	心	巻	の	手	
、	こ	の	す	し	ら	過	が	た		を	ち	。	退	。	の	き	、	が	キ
良	と	こ	ら	聞	は	ご	身	で		指	で	ベ	室		内	、	奇	ー	ボ
い	が	と	と	い	、	せ	に	。		差	手	ッ	の		は	妙	な	ド	を
機	あ	だ	涙	て	年	ま	染	由		し	招	ド	挨		見	な	感	を	押
会	る	。	が	く	寄	し	み	美		、	き	上	拶		え	な	覚	を	す
か	の	三	光	れ	り	た	ま	と		三	を	に	を		ない	感	に	を	。
も	だ	人	っ	ま	の	。	し	会		人	し	移	す		い	覚	に	を	。
知	ろ	に	て	す	戲	お	た	え		に	て	動	る		。	蝕	に	を	。
れ	う	、	い	か	言	礼	、	ま		腰	い	し	。		こ	ま	を	。	。
な	。	い	る	一	に	を	お	し		掛	た	た	呼		こ	れ	。	。	。
い	荒	や	。		な	申	陰			け	。	荒	び		と				

規		一		も	り	皆	ま	う	ず	な	葉	エ	た	警	嫌	こ	毎		今
模	一	呼	身	会	の	さ	る	で	言	い	を	ビ	い	察	に	と	日	一	後
な	皆	吸	に	わ	こ	ん	で	し	う	。	頻	デ	で	、	な	ば	コ	コ	の
空	さ	置	余	せ	と	は	、	よ	の	専	発	ン	、	あ	る	か	ロ	ナ	人
襲	ん	い	る	て	を	偉	国	う	。	門	す	ス	本	れ	ぐ	り	ナ	禍	生
に	は	て	言	く	考	い	民	。	そ	家	る	っ	当	は	ら	。	が	の	の
遭	知	、	葉	れ	え	わ	へ	実	の	に	の	て	に	何	い	政	中	道	道
っ	ら	荒	を	た	て	。	の	は	言	相	。	言	嫌	。	毎	治	心	毎	標
た	な	木	頂	。	く	一	既	事	葉	談	責	え	だ	ま	日	家	、	日	が
の	い	は	戴	本	れ	生	成	前	が	の	任	ば	わ	で	聞	が	そ	は	見
。	と	言	し	当	た	懸	事	に	特	上	逃	い	。	戦	い	得	れ	辛	つ
そ	思	葉	た	に	わ	命	実	決	に	で	れ	い	政	争	た	意	も	い	か
う	う	を	。	立	。	に	作	め	嫌	決	の	の	治	中	わ	げ	感	わ	る
、	け	続	恐	派	約	私	り	て	い	定	発	か	家	の	。	に	染	。	予
大	ど	け	縮	な	束	の	ね	い	。	し	言	し	は	特	特	語	者	T	感
分	、	る	の	日	通	よ	。	る	だ	ま	に	、	科	高	、	る	数	V	を
空	大	。	極	本	り	う	そ	訳	っ	す	し	そ	学	警	対	対	や	の	感
襲	分		み	人	に	な	の	だ	て	と	か	の	的	察	応	策	自	報	じ
ね	も		だ	よ	娘	年	点	か	、	、	思	言	根	み	コ	策	粛	道	た
。	大		。	一	と	寄	、	ら	そ	必	え		抛		ナ	を	の	は	。

当	と	ロ	人	き	を	そ	を	も	と	大	え	生	っ	残	が	っ	壕	い	確
た	考	ナ	は	る	思	の	失	、	も	分	ら	き	た	っ	大	て	か	て	か
り	え	感	、	筈	え	気	っ	生	あ	も	れ	る	時	た	変	い	ら	、	、
前	る	染	元	よ	ば	持	て	き	れ	変	な	こ	、	親	だ	た	出	母	終
の	こ	で	々	。そ	、	ち	し	る	、	わ	か	と	何	戚	っ	の	た	の	戦
こ	と	言	責	れ	も	が	ま	上	平	っ	っ	が	故	の	た	。何	時	後	の
と	が	え	任	な	っ	強	っ	で	和	た	た	精	だ	家	。何	、	ろ	年	の
で	大	ば	が	の	と	く	た	一	を	。そ	。そ	一	か	に	も	を	の	の	4
し	事	、	あ	に	人	な	。コ	番	謳	れ	れ	杯	ち	間	声	一	生	月	月
よ	ね	自	る	、	に	っ	ロ	大	歌	か	。戦	で	っ	借	が	生	懸	ね	。小
う	。大	分	の	言	優	た	ナ	切	で	。戦	。戦	と	り	し	出	懸	命	。小	さ
。そ	切	が	。そ	い	し	わ	禍	な	き	。戦	。戦	も	し	た	な	に	走	。小	な
れ	な	無	れ	訳	い	。終	の	の	る	。戦	。戦	先	く	わ	。戦	走	。小	。小	な
が	人	症	が	ば	政	戦	報	、	国	。戦	。戦	の	な	。戦	。戦	。小	。小	。小	。小
で	を	状	政	か	治	後	道	日	に	。戦	。戦	こ	か	。戦	。戦	。小	。小	。小	。小
き	守	の	治	り	や	の	を	本	な	。戦	。戦	と	っ	。戦	。戦	。小	。小	。小	。小
な	る	感	よ	。偉	行	混	見	人	っ	。戦	。戦	は	た	。戦	。戦	。小	。小	。小	。小
い	に	染	。コ	い	動	乱	て	の	。戦	。戦	も	考	。戦	。戦	。小	。小	。小	。小	。小
の	は	者	コ	い	が	期	、	心	で	は	、	考	。戦	。戦	。小	。小	。小	。小	。小

を	い	き	荒	心		も	て	い		ぐ	さ	本	答	思	る	の	し	華	は
考	知	言	木	の	荒	頑	も	て	ー	ら	い	人	よ	う	か	。	て	街	、
え	っ	葉	の	奥	木	張	良	貫	あ	い	、	の	。	で	し	T	、	や	悲
始	た	に	歩	底	の	っ	い	え	く	よ	と	持	結	し	ら	V	行	行	し
め	。	、	ん	に	吐	て	人	て	、	ー	政	つ	局	よ	。	を	動	楽	す
て	還	自	だ	透	露	く	達	、	胸		治	美	、	う	普	見	を	地	ぎ
い	曆	分	人	徹	す	だ	よ	本	の		家	徳	人	。	通	る	自	の	る
た	を	が	生	し	る	さ	。	当	仕		や	が	に	自	は	人	人	出	わ
。	過	へ	の	た	言	い	私	に	え		マ	な	優	分	、	は	出	。	毎
今	ぎ	青	重	。	葉	ね	が	感	が		ス	く	し	達	自	、	ば	毎	日
一	、	二	さ	鏤	が	ー	保	謝	降		コ	な	く	も	肃	そ	か	日	の
度	早	才	が	め	、		証	し	り		ミ	っ	な	外	す	の	り	が	T
、	く	〜	あ	ら	一		し	ま	た		の	た	い	出	る	映	が	放	V
仕	も	だ	っ	れ	筋		ま	す	わ		人	の	の	O	意	像	映	映	報
事	人	っ	た	た	の		す	。	。		を	。	ね	K	味	か	さ	れ	道
を	生	た	。	言	光		。	皆	最		一	恥	。	よ	が	ら	れ	。	で
始	の	こ	傾	葉	に		こ	さ	後		喝	を	本	、	な	何	る	は	、
め	仕	と	聴	に	な		れ	ん	ま		し	知	来	思	い	を	。	。	、
た	舞	を	す	は	っ		か	は	で		た	り	、	う	わ	考	。	。	、
原	い	思	べ	、	て		ら	と	聞		い	な	日	う	と	え	そ	。	繁

る	は	フ		病	に	方	る	る	く	線	る	帰	差		葉	な	る	遠	点
。	暗	ロ	病	院	入	の	。	と	蛇	路	道	路	す	役	で	ど	絶	に	を
目	幕	ン	院	の	る	信	車	、	行	を	を	に	る	目	あ	で	好	続	思
の	の	ト	の	案	。	号	間	戸	す	横	、	着	。	を	っ	は	の	く	い
前	役	ガ	看	内	視	機	距	外	る	切	無	く	整	果	た	な	契	ゴ	だ
に	目	ラ	板	看	線	が	離	店	道	り	言	。	理	た	。	か	機	ー	し
、	を	ス	は	板	を	赤	に	舗	の	、	の	悠	仕	し		っ	に	ル	た
2	果	ガ	辛	が	転	色	注	も	先	高	内	久	切	、		た	な	に	。
0	た	ス	い	あ	じ	に	意	多	が	速	に	の	れ	安		。	っ	向	設
1	し	ク	記	っ	る	変	し	く	国	道	車	郷	な	堵		深	た	け	備
1	、	リ	憶	た	と	わ	て	、	道	路	が	を	い	感		い	。	、	技
年	辛	ー	を	。	、	り	、	賑	に	下	進	出	思	と		思	決	術	術
1	い	ン	惹		交	、	走	や	な	の	む	、	を	一		い	し	者	の
0	映	に	起		差	暫	行	か	。	道	。	田	抱	抹		や	、	の	研
月	像	代	す		点	し	を	な	こ	を	遮	園	え	の		り	荒	の	鑽
4	を	わ	る		の	の	続	街	こ	走	断	風	、	虚		に	木	性	と
日	鮮	る	。		横	信	け	並	こ	る	機	景	植	無		満	の	根	努
を	明	。	刹		に	号	る	み	ま	。	の	の	山	感		ち	愚	を	力
告	に	風	那		県	待	。	に	で	小	な	残	と	が		た	痴	、	永
げ	す	景	、		立	ち	前	な	来	さ	い			交		言	え		



二	い		き	じ	幼	く	随	が	が	が	娘	に			震	る	呆	の	る
度	る	英	方	る	き	な	分	、	、	、	の	結	松	□	災	。	然	死	時
目	。	子	に	英	頃	い	と	勝	勝	松	美	ば	尾	2	の	そ	と	を	計
は	一	は	、	子	よ	親	惜	に	の	尾	里	れ	勝	0	年	れ	立	告	の
2	度	人	大	が	り	は	別	養	養	。	。	、	の	1	で	は	ち	げ	針
0	目	生	な	下	自	い	の	子	子	家	美	松	旧	1	あ	、	尽	る	。
0	は	で	影	し	立	な	涙	を	縁	の	里	尾	姓	年	っ	未	く	主	視
9	1	大	響	た	心	い	を	流	組	家	を	家	は	1	た	曾	す	治	線
年	9	き	を	英	の	。	し	た	み	の	望	長	井	0	。	有	松	医	を
5	8	な	及	断	強	勝	た	当	で	長	外	男	、	月		の	尾	の	転
月	0	手	ぼ	が	い	は	そ	夜	あ	に	に	に	実	(	母	災	自	白	じ
の	年	術	す	、	子	五	う	、	っ	気	入	な	母	母	の	害	身	衣	る
脳	5	を	こ	そ	供	人	だ	入	た	に	入	っ	英	看		と	姿	。	と
下	月	、	と	の	だ	兄	。	浴	。	入	っ	た	子	取		な	が	映	、
垂	の	二	に	後	っ	妹	子	中	後	実	。	。	が	り		っ	浮	像	実
体	胃	度	な	松	た	の	供	の	日	母	妻	妻	が	)		た	か	を	母
腫	癌	経	っ	尾	。	三	が	英	談	は	一	一	紡			東	び	引	酒
瘍	手	験	た	の	勝	男	可	子	に	人	人	だ	い			日	上	く	井
摘	術	し	た	生	を	で	愛	は	な	子	子	縁	だ		本	大	が	と	英
出	、	て	。		信	、			る	論					大	が	、	子	子

後	き	手	病	を	た		病	密	態	る		発	劇	す	覚	視	分	肥	手
、	か	術	変	術	。	手	院	検	に	。	症	見	的	い	的	野	泌	大	術
苦	っ	で	を	式	下	術	で	査	な	英	状	を	変	病	な	狭	を	化	で
痛	た	は	摘	と	垂	当	緊	を	り	子	が	阻	化	気	要	窄	阻	す	あ
を	。	あ	出	す	体	日	急	経	、	の	進	害	は	と	素	な	害	こ	。
訴	顔	が	す	。	の	は	手	て	市	場	む	す	考	云	が	ど	す	と	下
え	面	、	る	。	手	、	術	、	内	合	と	る	え	え	大	が	る	。	垂
る	の	高	。	内	術	I	を	主	の	で	意	一	に	。	き	現	。	で	体
呻	腫	齢	へ	視	は	C	行	治	院	あ	識	因	く	高	く	れ	初	、	の
き	れ	の	の	鏡	、	U	う	医	に	。	障	あ	こ	齡	、	。	の	副	腺
声	は	英	接	と	鼻	の	こ	の	緊	白	害	っ	と	者	見	本	症	腎	腫
が	酷	子	触	手	腔	付	と	所	急	杵	に	た	も	の	守	人	状	皮	自
し	く	の	を	術	か	き	に	属	搬	の	繋	。	、	場	る	し	は	質	体
ば	、	ダ	極	器	ら	添	な	す	送	自	が		積	合	家	か	、	ホ	は
ら	麻	メ	力	具	の	い	っ	る	さ	宅	る		極	は	族	拵	食	ル	良
く	酔	ー	防	を	ア	が	た	大	れ	で	ケ		的	、	も	め	欲	モ	性
続	が	ジ	止	挿	プ	許	。	分	た	昏	ー		な	腺	見	な	減	ン	だ
い	切	は	す	入	ロ	可		の	。	睡	ス		症	腫	逃	い	退	の	が
た	れ	大	る	し	ー	さ		大		状	が		状	の	し	感	・	正	、
。	た			、	チ	れ		学	精	状	あ				や			常	

る	正	に	ッ		全	生	が	人			見	重	般	は	大	は		子	戦
。	解	か	フ	選	面	活	幕	生	懐	ー	詰	大	に	限	分	重		が	後
松	は	、	と	ん	的	全	を	を	か	マ	め	な	介	界	の	大		、	の
尾	も	居	高	だ	な	般	明	託	し	ー	、	決	護	が	介	な	弱	混	
が	う	心	い	介	協	の	け	さ	い	く	た	断	が	き	護	こ	音	乱	
動	一	地	介	護	力	支	る	れ	マ	ん	だ	を	必	て	施	と	を	期	
け	つ	の	護	施	が	援	。	た	ー	、	一	求	要	い	設	を	繰	を	
な	、	良	の	設	、	を	下	瞬	く	よ	言	め	あ	た	へ	相	り	乗	
い	英	い	質	は	心	淡	垂	間	ん	ろ	、	た	っ	。	の	談	返	越	
範	子	英	を	正	強	々	体	だ	の	し	淡	こ	た	転	す	室	姿	え	
囲	が	子	有	解	い	と	の	っ	響	く	々	と	。	居	。	移	は	、	
は	気	の	し	だ	支	熟	通	た	き	頼	と	に	英	管	あ	っ	衝	我	
、	に	住	て	っ	え	し	院	。	で	み	回	な	子	理	る	た	撃	慢	
す	入	ま	い	た	に	て	検	新	あ	ま	答	。	と	を	。	英	的	強	
べ	っ	い	。	。	な	い	査	た	っ	す	し	松	っ	含	独	子	で	い	
て	た	な	い	親	っ	。	や	な	た	ー	。	尾	。	め	り	に	あ	性	
美	美	っ	っ	切	。	美	会	親	。			の	て	、	の	か	っ	格	
里	里	た	の	な		里	計	子	母			目	は	生	生	ら	た	の	
が	で	。	間	ス		の	な	関	親			を	、	活	活	ら	。	英	
熟	あ			タ			ど	係	の					全		、			

小	に	緊	皮	害	京	た	と	の	き		親	四	ご	気	大	徐	け		し
さ	転	急	質	で	に	。	も	な	、	介	の	方	と	の	き	々	た	新	て
な	院	治	ホ	緊	出	幸	云	い	時	護	姿	八	の	な	な	に	美	し	く
T	し	療	ル	急	張	せ	え	昔	に	施	で	方	起	い	要	施	点	い	れ
V	た	が	モ	入	し	な	る	話	は	設	あ	に	点	笑	因	内	で	環	た
で	。	終	ン	院	た	時	が	に	ベ	に	っ	喜	に	顔	は	の	あ	境	。
確	東	了	の	し	2	間	、	花	ッ	は	た	び	な	で	、	友	る	に	も
認	日	し	調	。	0	に	英	を	ド	、	。	を	。	あ	一	達	。	馴	は
し	本	た	整	処	1	も	子	咲	に	ほ		広	ネ	っ	あ	を	生	染	や
た	大	時	が	方	1	終	の	か	腰	ぼ		げ	ッ	。	り	増	来	む	、
。	震	点	不	さ	年	わ	笑	せ	掛	毎		て	ト	感	が	や	の	性	実
こ	災	で	十	れ	2	り	顔	た	け	日		い	ワ	謝	と	し	営	格	の
れ	の	、	分	た	月	が	で	。	、	の		く	丨	と	う	て	業	は	娘
が	報	大	な	薬	、	く	す	親	二	よ		。	ク	笑	ー	い	セ	、	と
日	道	分	な	で	再	る	べ	子	人	う		見	通	顔	の	っ	ン	英	な
本	は	市	っ	は	度	。	て	関	で	に		習	信	は	言	た	ス	子	っ
の	、	内	て	、	の	松	が	係	取	面		う	の	、	葉	。	か	が	て
映	病	の	い	副	意	尾	救	の	り	会		べ	如	喜	と	そ	ら	身	い
像	室	病	た	腎	識	が	わ	逆	留	に		き	く	び	、	の	に	に	た
か	の	院	。		障	東	れ	転	め	行		母			邪	の	付	。	。

た	自		し		い	ッ	子		一	で	食	げ	に	酸	モ		け	態	と
以	信	命	ま	「	掛	ド	の	実	口	、	欲	、	身	素	ン	松	で	の	、
上	は	の	う	マ	け	横	覚	の	食	食	減	助	体	吸	調	尾	あ	英	信
、	な	尊	？	ー	は	で	悟	母	べ	事	退	け	の	入	整	は	っ	子	じ
一	い	厳	こ	く	一	交	へ	親	て	を	の	を	状	量	の	毎	た	は	ら
言	°	を	れ	ん	切	わ	矜	を	く	口	英	求	態	、	コ	日	°	、	れ
も	松	問	か	、	な	す	持	褒	だ	ま	子	め	を	食	ー	の		悲	な
聞	尾	う	ら	私	か	会	ゝ	め	さ	で	を	て	訴	事	ト	看		惨	か
か	を	英	ど	は	っ	話	は	る	い	運	宥	い	え	撰	リ	病		な	っ
な	信	子	う	ま	た	の	立	こ	と	ぶ	め	る	て	取	ル	記		映	た
い	じ	の	な	だ	°	中	派	と		こ	賺	い	い	量	や	録		像	°
こ	、	質	る	生		に	で	は		と	し	°	る	の	チ	を		を	食
と	自	問	？	き		、	あ	恥		だ	、	松	°	数	ラ	付		悲	欲
が	分	に	ー	ら		松	っ	ず		っ	小	尾	身	字	ー	け		し	も
、	の	、		れ		尾	た	か		°	さ	が	体	が	ゲ	て		げ	な
英	人	冷		る		が	°	し		せ	な	で	が	、	い		に	く	
子	生	静		？		窮	病	い		め	ス	き	悲	悲	の	た		眺	、
の	を	を		死		す	室	が		て	プ	こ	鳴	し	薬	°		め	衰
矜	託	保		ん		る	の	、		、	ー	と	を	い	量	ホ		る	弱
持	し	つ		で		問	べ	英		、	ン	は	上	程	、	ル		だ	状

な	で	傾	液	過	栄	独	断	長	つ		な	足	現	ロ	理	療	を		で
か	あ	け	検	酷	養	り	で	い	の	傍	ア	に	状	リ	な	提	提	栄	あ
っ	る	る	査	な	状	で	あ	ス	決	に	イ	口	は	丨	選	案	養	っ	
た	。	べ	の	現	態	抱	っ	パ	断	い	ス	を	把	点	択	で	状	た	
。	悲	き	数	実	の	え	た	ン	を	る	ク	付	握	滴	に	あ	態	と	
	し	は	値	を	改	る	。	で	す	こ	リ	け	し	に	。	。	が	思	
	い	、	を	、	善	に	妻	の	る	と	丨	な	て	な	。	生	悪	っ	
	か	英	殊	数	が	は	の	看	。	が	ム	い	い	る	。	命	化	て	
	な	子	更	ヶ	本	、	美	取	白	辛	と	。	た	。	胃	維	す	い	
	、	の	に	月	人	あ	里	り	杵	く	、	そ	。	毎	癌	持	る	る	
	そ	身	説	間	を	ま	だ	を	の	な	ほ	の	。	日	の	の	と	。	
	の	体	明	見	苦	り	け	、	病	る	ぼ	カ	。	の	食	手	、		
	声	が	す	て	し	に	に	秘	院	。	同	ロ	。	の	事	術	一		
	は	訴	る	き	め	過	は	か	へ	悩	じ	リ	。	食	介	を	般		
	医	え	。	た	て	酷	相	に	の	ん	で	丨	。	助	助	し	に		
	師	る	本	。	い	で	談	覚	転	だ	あ	は	。	品	で	た	医		
	に	悲	当	医	る	あ	を	悟	院	末	る	、	。	さ	英	英	師		
	は	鳴	に	師	。	っ	し	し	で	に	。	大	。	え	子	子	は		
	届	の	耳	は	そ	た	た	た	あ	、	好	好	。	、	の	は	胃		
	か	声	を	血	の	。	。	判	る	一	き	の	満	の	力	無	医	瘦	

。

「	び	き	分	に	意	諾		が	が	長	数	け		月	の	英	ス	れ	
苦	が	添	さ	、	識	で	無	提	無	続	も	食	故	中	事	子	に	先	担
し	聞	う	え	強	の	あ	理	案	理	き	多	事	郷	旬	実	が	な	病	当
い	こ	日	、	引	混	っ	な	す	に	し	く	撮	は	に	で	松	り	院	医
く	え	々	受	に	濁	た	選	る	な	な	な	取	良	英	あ	尾	、	と	師
、	た	が	け	栄	が	。	択	高	っ	か	っ	量	い	子	っ	を	苦	の	と
ど	。	辛	入	養	見	英	で	カ	。	っ	。	増	も	を	た	信	し	調	の
う		い	れ	を	ら	子	あ	ロ	継	た	残	え	の	臼	。	じ	い	整	軋
に		。	難	注	れ	の	っ	リ	り	。	念	、	だ	杵	様	、	毎	、	轢
か		頻	い	入	た	苦	た	丨	付	4	な	表	。	の	々	人	日	対	兄
し		繁	異	す	。	痛	。	点	き	月	が	情	転	病	な	生	が	応	妹
て		に	物	る	極	が	母	滴	たい	下	ら	も	院	院	思	を	続	の	へ
「		、	に	。	度	激	親	を	い	旬	、	豊	後	に	い	託	いた	一	の
		英	な	生	に	し	に	受	思	に	倖	か	の	転	を	して	。	つ	相
		子	っ	命	衰	く	申	諾	い	は	せ	に	英	院	受け	く	心	つ	談
		の	て	維	弱	なり	し	した	で	、	な	なり	子	に	止め	れた	の	が	、
		苦	いる	持	した	、	訳	。	、	時	間	、	は	さ	、	支	え	ス	受
		痛	。	の	身	時	ない		医	撮	は	口	少	せ	、	え	ト	け	入
		の	付	栄	体	折	受		師	取			し	。	。	は	レ		
		叫		養									だ		3	そ	は		

「	が	体	2		英	て	取	入	し	更	子	傍				し	点		
お	、	は	週	水	子	い	り	れ	、	に	の	に	G	心	「	か	滴	ベ	「
に	食	神	間	分	か	る	に	た	担	厳	苦	付	W	の	情	で	跡	ッ	母
ぎ	欲	秘	余	補	ら	。誰	終	。意	当	し	し	き	は	内	け	き	が	ド	さ
り	と	的	り	給	信	か	わ	味	医	い	み	添	ほ	で	な	ない	痛	横	ん
が	明	で	、	の	頼	が	り	は	師	判	を	う	ぼ	懺	い	々	々	の	、
食	瞭	あ	奇	点	さ	決	が	す	に	断	受	こ	病	悔	息	し	簡	ゴ	
べ	意	。水	跡	の	れ	断	来	べ	高	が	け	と	室	の	子	い	易	メ	
た	識	分	の	み	て	す	る	て	カ	必	止	が	で	言	で	腕	椅	ン	
い	を	し	時	に	い	る	こ	分	ロ	要	め	松	過	葉	ゴ	と	子	。傍	
「	回	か	間	な	る	必	と	か	リ	に	た	尾	ご	を	メ	手	に	腰	
	復	撮	に	っ	松	要	を	っ	「	な	。G	の	し	ク	ン	、	に	掛	
	さ	取	な	。こ	尾	が	。最	て	点	っ	W	の	た	日	ね	祈	け	、	
	せ	し	っ	こ	し	あ	終	い	滴	た	が	中	。託	々	「	る	、	、	
	る	な	。人	こ	か	。そ	決	。兄	止	過	過	止	さ	が		よ	や	「	
	。身	い	の	か	な	。そ	断	妹	を	ぎ	る	を	れ	続		う	せ		
		身	の	ら	か	れ	が	に	申	と	。英	を	た	い		に	衰		
		体	身	の	っ	は	迫	相	し	、		上	た	た		摩	え		
					た		っ	談					上	。心		る	、		



涙	一	弱	む	し	悟	っ	付		が	ッ	舞	て	苦		と	幸	さ	喜	
を	苦	々	ガ	た	の	た	添	初	旺	コ	い	き	痛	や	の	福	、	の	嬉
滲	し	し	ー	3	言	°	時	秋	盛	リ	に	た	の	が	な	な	普	言	し
ま	い	い	ゼ	日	葉	カ	間	を	で	〜	訪	°	日	、	い	時	通	葉	い
せ	よ	苦	で	の	が	レ	も	迎	、	の	れ	8	々	奇	時	間	に	で	要
、	ね	痛	英	夜	実	ン	長	え	底	笑	た	月	、	跡	間	で	会	あ	求
精	、	の	子	、	感	ダ	く	る	抜	顔	°	の	多	が	で	話	が	つ	が
一	こ	声	の	松	と	丨	な	頃	け	で	微	旧	臓	静	あ	が	で	°	あ
杯	こ	を	唇	尾	な	が	り	、	な	孫	か	盆	器	か	っ	き	る	口	た
に	こ	聞	を	が	っ	1	、	深	優	を	に	に	不	に	た	°	素	腔	°
話	い	き	濡	で	た	0	夜	体	し	迎	会	、	全	幕	°	れ	晴	撰	付
し	る	、	す	き	°	月	の	は	さ	話	と	、	の	を		は	ら	取	き
掛	か	英	だ	る	寝	の	帰	更	は	、	い	遠	形	降		、	し	が	添
け	ら	子	け	介	泊	頁	宅	に	健	つ	も	方	と	ろ	°	二	さ	で	う
、	安	の	に	助	ま	に	が	深	在	サ	の	に	し	す	度	度	、	き	家
死	心	耳	な	は	り	な	度	刻	で	丨	の	住	て	°	と	本	有	る	族
相	し	元	っ	、	の	と	々	に	あ	ビ	準	む	、	英	戻	当	り	難	に
が	て	で	た	水	備	、	に	っ	っ	ス	備	孫	戻	子	る	に	難	は	驚
現	一		°	含	を	覚	な	た	°	精	を	が	つ	の	こ	に			

酒	が	来	看	し		張		取	添	に	し	が	息		う	を	英	み	れ
井	終	て	護	、	ベ	り	「	り	う	、	て	振	を	時	に	受	子	を	始
英	了	、	師	深	ッ	ま	母	を	こ	ゆ	い	り	引	計	摩	け	の	取	め
子	し	最	を	く	ド	し	さん	果	と	っ	た	向	き	の	っ	た	腕	り	た
、	た	終	呼	長	に	た	、	た	が	く	。	い	取	針	て	感	、	去	英
享	時	的	び	い	横	。流	ご	し	で	り	苦	た	つ	が	い	謝	そ	る	子
年	、	な	、	お	た	石	苦	た	き	と	悶	た	。喉	4	く	の	し	術	の
8	時	死	母	辞	わ	の	様	瞬	た	神	の	間	。喉	日	。を	思	て	が	顔
4	計	亡	の	儀	る	母	様	間	。英	に	様	、安	なり	を		い	欲	を	、
歳	の	通	死	を	英	親	で	だ	子	召	子	ら	の	告		込	し	、	そ
。激	針	告	を	す	子	で	し	っ	と	さ	は	か	音	げ		め	い	。そ	っ
動	は	を	行	る	に	し	た	。を	の	れ	一	な	が	る		、柔	も	毛	と
の	時	う	る	。ナ	最	。本	。本		最	。最	切	表	途	頃		ら	り	布	愛
戦	を	。一	。担	丨	敬	当	に		後	。最	情	切	、英	、		か	を	に	撫
後	示	連	当	ス	礼	良	に		の	。最	で	れ、	子			か	伝	両	す
を	し	の	医	コ	の	く	良		約	。自	旅	、	は			く	え	手	る
生	て	儀	師	丨	意	。本	く		束	然	立	松	静			包	る	を	。苦
き	い	式	が	ル	を	。本	頑		、看	自	ち	尾	か			む	。生	入	し
抜	た			で	表				看	然	を		に		よ	生	れ	れ	し

重篤化した際は、一サイトカインストーム	ムデシベルなどの抗ウィルス薬を使用する。	合は対症療法で済むが、肺炎症に至ると、レ	に応じて既存の治療薬を投与する。軽症の場合	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス に 特 効 薬 は な い 。 症 状	□ 2 0 2 1 年 6 月 （ 近 付 く 東 京 五 輪 ）	親 で あ っ た 。	生 き 方 か ら 学 ん だ 。 や は り 、 英 子 は 偉 大 な 母	こ と の 意 味 、 愛 す る こ と の 大 切 さ を 、 母 親 の	れ た 。 大 切 な 気 付 き の 時 間 に な っ た 。 生 き る	過 ご し た 密 な 時 間 が 、 命 の 尊 厳 さ を 教 え て く	生 き る 意 味 を 知 る こ と で も あ る 。 英 子 と 共 に	き る こ と に 繋 が っ て い る 。 死 を 認 め る こ と は	も 平 等 に 訪 れ る 、 身 近 な 存 在 で あ る 。 死 は 生	人 の 死 は 特 別 で は な い 。 当 た り 前 で 、 誰 に	の 言 葉 を 捧 げ ま す 。	だ っ た で し よ う 。 息 子 か ら は 、 へ ア ッ パ レ 〜	多 く の 人 に 愛 さ れ た 。 さ ぞ か し 、 愉 し い 人 生	し た 。 生 来 の 天 然 さ と 、 笑 顔 の 似 合 う 人 柄 は	き 、 家 族 を 愛 し 、 誰 よ り も 夫 を 愛 し た 人 生 で
---------------------	----------------------	----------------------	-----------------------	---	---	----------------------------	--	--	--	--	--	--	--	---	---	--	--	--	--

2	感		困	努	が	に	人	さ	G	に		っ	ナ	喪	上	ン	が	者	症	
1	染	年	で	力	訪	も	流	れ	o	な	2	て	警	失	、	ト	出	が	状	
年	者	末	収	も	れ	的	の	た	T	っ	0	い	察	感	心	キ	現	多	を	
1	は	年	ま	あ	た	中	増	人	o	た	2	く	な	、	と	ラ	し	く	抑	
月	爆	始	っ	り	。大	す	加	々	ト	。そ	0	。怖	ど	心	日	ー	、	、	え	
7	発	を	て	、一	分	る	を	が	ラ	し	年	い	、監	の	常	の	多	時	る	
日	的	迎	い	般	の	。以	懸	、県	ベ	て	は	ウ	視	弱	の	怖	大	に	抗	
に	に	え	た	診	感	前	念	境	ル	、今	、コ	イ	と	み	営	さ	な	は	炎	
は	増	、	。人	療	染	よ	す	を	が	で	ロ	ル	規	が	み	で	感	一	症	
、	加	人		と	状	り	る	越	開	も	ナ	ス	制	増	が	あ	染	ス	薬	
東	し	流		の	況	も	専	え	始	。7	感	で	が	幅	破	る	者	ー	が	
京	た	の		折	は	大	門	る	さ	月	染	も	蔓	さ	壊	。人	を	パ	必	
都	。年	動		り	、医	き	家	旅	れ	7	に	。7	延	れ	さ	が	生	ー	要	
の	が	き		合	療	な	の	行	、割	月	翻	。7	る	、や	れ	媒	み	ス	に	
感	明	は		い	関	第	心	に	引	下	弄	。7	社	が	体	出	出	プ	な	
染	け	一		可	係	三	配	出	額	旬	さ	。7	会	て	に	す	。サ	レ	る	
者	、	段		能	者	波	が	掛	に	か	れ	。7	に	は	な	。サ	イ	ダ	無	
数		と		な	の	の	、不	け	触	ら	た	。7	繋	コ	る	な	レ	ー	症	
は	2	増		範	の	波	幸	た	発	は	年	。7	が	ロ	以	レ	ー	状	状	
2	0	し																		

感	す	耳	感	プ		五	は	期	I	2		ワ	策	へ	二	数	策	人	4
染	る	朵	染	を	変	輪	、	が	O	0	東	ク	で	ア	回	の	、	流	4
者	°	に	爆	席	異	開	2	決	C	年	京	チ	は	ル	目	発	そ	を	9
が	2	す	発	巻	株	催	年	定	バ	3	五	ン	、	フ	の	表	の	促	名
1	0	る	が	し	の	の	間	さ	ッ	月	輪	接	抑	ア	緊	当	両	す	に
0	2	度	生	た	感	上	の	れ	ハ	2	・	種	制	ー	急	夜	立	経	な
2	1	、	じ	°	染	で	延	た	会	4	パ	が	が	の	事	、	は	済	っ
名	年	コ	た	首	力	、	期	°	長	日	ラ	待	効	置	態	政	矛	政	た
に	5	ロ	°	都	は	大	を	人	の	の	リ	望	か	き	宣	府	盾	策	°
な	月	ナ	第	圏	強	き	望	々	緊	夜	ン	さ	な	換	言	は	す	と	驚
つ	1	感	三	だ	く	な	ん	の	急	に	ピ	れ	い	わ	を	首	関	、	異
た	4	染	波	け	、	重	で	多	会	、	ッ	る	事	り	発	都	係	抑	的
°	日	の	を	で	瞬	荷	いた	く	談	当	ク	状	態	も	令	圏	に	制	な
医	に	無	凌	な	間	に	°	は	で	時	の	況	に	あ	し	の	あ	を	数
療	は	慈	駕	く	に	な	こ	中	、	の	開	で	陥	り	た	1	る	求	値
現	、	悲	す	、	従	っ	の	止	1	安	催	あ	っ	、	°	3	め	る	あ
場	大	さ	る	地	来	た	判	若	年	倍	は	っ	て	従	変	感	感	っ	
の	分	を	報	方	タ	°	断	し	間	首	、	た	い	来	異	染	染	た	
窮	で	痛	道	に	イ		が	く	の	相	2	°	た	の	株	に	感	染	°
状	も	感	を	も					延	と	0		°	対		、	者	対	

松尾が母親と過ごした看取りの日々は誰	通の介護に戻して欲しい。	や施設スタッフ、温もりを伝えられる、普	荒木親子が自由に会える日常が欲しい。島本	欲しい。人に寄り添う優しい政策が欲しい。	く。緊急時には、為政者の信じられる言葉が	は何処に消えたのか。際限なく愚痴が口を衝	故、偏る政策になるのか。科学的知見と検証	いつまでブレーキとアクセルを踏むのか。何	悲しいかな、人々の嘆きは政府に届かない。	無念な別れ、葬儀さえ普通に出来ない苦悩、	い悲しみ、コロナ感染で亡くなった家族との	染予防を徹底している。愛する家族と会えない	民は、辛抱の言葉を噛みしめ、日常生活で感	数は緊急事態で間違い。心ある多くの国	民は、緊急事態と受け取らなかつた。感染	頻発する宣言は信頼性が乏しい。一部	の緊急事態宣言を発令した。	3日の夜、東京都を含め4都府県に、三回目	が、連日のように報道された。政府は4月2
--------------------	--------------	---------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	-----------------------	----------------------	--------------------	---------------------	-------------------	---------------	----------------------	----------------------

エ	す		離	称	関	所	間	さ	の			そ	詳	ス	去	み	越	な	も
オ	る	無	さ	す	係	以	帯	れ	ス	2	□	の	ら	に	っ	た	え	時	が
表	中	観	れ	る	者	で	に	た	タ	0	エ	責	か	対	て	い	、	間	必
記	、	客	た	感	、	あ	合	°	ジ	2	ピ	任	に	処	欲	°	悔	で	要
に	国	の	五	染	更	る	わ	夜	ア	1	ロ	は	し	す	し	今	い	あ	な
従	を	ス	輪	対	に	°	せ	に	ム	年	ー	為	て	る	い	す	の	っ	時
い	代	タ	に	策	、	海	て	始	ー	7	グ	政	欲	た	°	ぐ	な	た	間
入	表	ン	な	で	I	外	い	ま	国	月		者	し	め	そ	に	い	°	で
場	す	ド	っ	、	O	か	る	る	立	2		に	い	、	し	で	別	そ	あ
す	る	、	た	一	C	ら	°	開	競	3		あ	°	一	て	も	れ	れ	る
る	ア	各	°	般	関	の	商	会	技	日		る	後	連	、	、	が	故	°
。最	ス	国		の	係	選	業	式	場	、			世	の	次	コ	で	に	肌
後	リ	の		国	者	手	五	は	で	、			の	政	な	ロ	き	、	の
は	ト	要		民	が	や	輪	米	東	米			人	策	る	ナ	た	母	触
、開	が	人		(社	バ	関	と	国	京	国			々	決	未	の	°	親	れ
催	、	だ		会)	ブ	係	擲	の	五	の			の	定	知	脅	為	の	合
国	ア	け		と	ル	者	揄	放	輪	が			た	過	の	を	政	死	い
の	イ	が		隔	方	、	さ	映	が	開			め	程	ウ	取	者	を	と
	ウ	参			式	報	れ	映	開	一			に	を	イ	り	に	乗	、
		加			と	道	る	時	催	杜			も	、	ル	り	望	り	密

加	れ	さ	が	ロ	た	の	緊		T	感	式	心	の	輪	い	ン	纏	前	日
す	で	れ	皮	ナ	。東	影	急	五	V	謝	で	の	中	開	は	ド	い	回	本
る	も	、	肉	を	東	響	事	輪	画	を	あ	内	、	催	、	に	、	五	選
ア	、	コ	に	克	日	は	態	開	面	届	る	で	多	に	前	手	笑	輪	手
ス	開	ロ	聞	服	本	甚	宣	催	か	け	。競	苦	く	は	回	を	顔	と	団
リ	催	ナ	こ	し	大	大	言	を	ら	た	技	悩	の	、	と	振	の	。白	
ー	さ	禍	え	た	震	で	が	前	伝	い	が	し	ア	様	の	る	入	逆	
ト	れ	の	る	五	災	、	発	に	わ	。ア	で	て	ス	々	相	姿	場	配	
に	た	中	。一	輪	の	ワ	令	し	る	ス	き	い	リ	な	違	も	行	色	
は	五	で	般	、	復	ク	さ	て	入	リ	る	た	ト	障	を	あ	進	の	
何	輪	四	の	声	興	チ	れ	、	場	ー	喜	。そ	は	壁	鮮	り	を	公	
の	。当	苦	人	高	も	ン	た	。変	行	ト	び	し	開	が	明	、	続	式	
責	たり	八	々	に	道	接	。変	異	進	ら	、	て	催	あ	に	自	け	ユ	
任	前	苦	は	謳	半	種	異	株	で	し	国	、	の	っ	由	る	。無	ニ	
も	だ	し	置	う	ば	効	株	（	あ	い	民	迎	是	た	闊	。無	人	ホ	
ない	が	て	き	ス	で	果	（	ラ	あ	熱	に	え	非	。コ	達	の	ム	の	
。、	、	る	去	ロ	る	を	ム	ム	る	情	勇	た	を	ロ	な	ス	を	ト	
	参	。そ	り	ー	。コ	凌	ダ	目	。、	が	気	開	悩	ナ	振	の	身	ム	
			に	ガ		駕	シ	の		、	と	会	み	禍	五	舞	に	ス	



替		そ	資	い	ロ	社	で	こ	や		と	信	典	己	関	ア	コ	心		
わ	い	し	質	薄	ナ	会	、	そ	、	悠	が	・	に	の	係	ス	ロ	と	一	
っ	つ	て	は	皮	禍	を	感	、	荒	久	、	安	は	成	者	リ	ナ	身	年	
て	の	、	、	の	の	支	染	評	木	の	為	心	そ	果	で	ト	禍	体	延	
い	間	実	そ	状	日	え	対	価	親	郷	政	を	ぐ	を	は	だ	を	を	長	
た	に	行	の	態	常	る	策	さ	子	の	者	与	わ	殊	な	け	鍛	鍛	さ	
。	か	す	薄	か	が	多	と	れ	の	空	が	え	な	更	い	だ	え	れ	、	
開	、	る	皮	も	保	く	経	る	リ	調	、	い	。	に	。	、	、	五	、	
会	T	こ	を	知	た	の	済	べ	モ	改	明	。	一	強	人	決	五	年	間	
式	V	と	強	れ	れ	人	を	き	ト	修	日	般	の	調	々	し	輪	の	間	
は	画	な	固	な	て	々	立	で	面	工	へ	の	人	す	の	、	の	舞	に	
既	面	の	に	い	い	、	派	あ	会	事	の	人	々	る	安	、	発	台	な	
に	が	だ	す	。	る	そ	に	る	に	を	希	々	に	言	を	揮	を	な	つ	
終	ニ	。	政	為	。	の	両	。	に	成	望	、	、	葉	為	政	で	迎	た	
了	ュ		策	政	確	頑	立	コ	奔	し	を	抱	、	は	者	者	き	え	準	
し	ー		を	者	か	張	し	ロ	走	遂	抱	か	勇	、	と	と	る	て	備	
、	ス		立	に	に	り	て	ナ	し	げ	せ	せ	気	平	I	の	の	い	期	
食	に		案	必	、	で	い	禍	た	た	る	る	・	和	O	は	は	る	間	
卓	切		、	要	危	、	る	の	植	笹	。	こ	自	の	C	、	。	。	。	
に	り			な	う	コ	。	中	山	井	。	こ	自	祭	自					。

										応	京	で	の		選	お		を	分	は
										援	五	、	中	や	手	茶		溢	と	お
										し	輪	一	、	は	の	で	し	した	毒	茶
										よ	に	瞬	澱	り	応	も	た	訳	づ	が
										う	集	に	の	、	援	如	か	か	い	準
										。お	つ	霧	よ	妻	よ	何	。°	°	た	備
										も	た	散	う	の	°	す	°	よ	さ	れ
										て	世	し	に	美	だ	か	も	う	だ	て
										な	界	た	溜	里	し	°	、	°	°	い
										し	の	°	ま	に	、	さ	°	°	°	た
										の	ア	さ	つ	は	T	あ	°	°	°	°
										心	ス	あ	た	敵	V	、	°	°	°	°
										で	リ	、	毒	わ	画	こ	°	°	°	°
										°	ー	が	が	な	面	こ	°	°	°	°
											ト	明	、	い	で	こ	°	°	°	°
											を	日	美	°	か	°	°	°	°	°
											、	か	里	コ	ら	°	°	°	°	°
											心	は	の	ロ	は	°	°	°	°	°
											か	、	言	ナ	日	°	°	°	°	°
											ら	東	葉	禍	本	°	°	°	°	°